二版
時間表
（行南）
（行北）

京城日報

廿日夕刊

定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金八十五錢　郵稅一ヶ月金十五錢　前金三ヶ月分二圓　六ヶ月分四圓　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢▲二號活字八字詰壹行金壹圓▲三號活字同上▲四號活字▲六號活字

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯　營業　振替貯金口座京城一〇〇番

支那の形勢

▲頻に徐世昌氏を勸誘

十八日又復段總理は金雲鵬氏を又黎總統も特使を派して天津なる徐世昌氏を訪はしめ同氏の出廬を求む可く第二回の勸誘を爲せり倪安徽督軍倪嗣冲も亦同時に天津へ赴けり（北京特電）

▲參戰案討議愈延期

十九日開會の支那衆議院は出席議員四百四名中二百二十九名の大多數にて參戰案討議を段內閣更迭後に延期する事に決定す（北京電報）

▲黎氏解散を肯ぜず

黎總統は此際如何なる事あるとも議會の解散を許さずと聲明したり（北京電報）

○勞働兵士團新要求

大臣を自派より出さんとす

露國勞働者兵士委員會は政府に對して軍需勞働郵電の三省を新設すると同時に之等に同委員會の代表者を採用し外務省にも同樣採用されん事を決議し右交涉は漸次進行しつゝあり（露都電報）

○勞兵團の割込運動

露都に於ける勞働者兵士團は這回の聯立內閣々僚中自派より五名を割込ますべく頻りに運動中なり（露都電報）

○露法相を陸軍長官に

露軍士氣大いに揮ふ

陸軍總司令官アレキセーフ大將及び各軍司令官は悉くペトログラードに歸來せり各將軍は異口同音に聲言して曰く『陸軍はケレンスキー氏の陸軍長官たる事を歡迎す』と又アレキセーフ大將は新聞代表者に會見して曰く『各軍需品の供給及び軍隊の士氣は今大いに改良せられたり余は聯合軍の戰捷に依りて敵を攻擊す可き現狀の良好なるを利用し得る事と思惟す』と（露都電報）

○外相と陸相の後任

臨時政府の會議に於て外相ミリユーコフ氏は述べて曰く余の辭任は閣員の大部分と意見を異にするが爲めなりと外相の後任には現藏相テレスチエンコ氏任命され法相ケレンスキー氏は陸相たる可し（露都電報）

○英平和黨動議否決

英國下院に於て平和主義者の動議なる英國は世際講和條件を公表すべしとの提唱は二百六票の多數にて否決されたり（紐育電報）

○米觀光團來鮮

米國ユニバーシチー觀光團は女七名男一名は二十日朝高麗丸にて釜山に上陸し午前十時半發列車にて京城へ向へり京城に二泊の後二十三日奉天へ向ふ豫定なり（釜山特電）

○木村理事歸鮮

木村朝鮮銀行理事は二十日朝高麗丸にて釜山著直ちに京城へ向へり（釜山特電）

○清朝復辟其後

清朝復辟計畫は新舊帝政派首唱と南方領袖等の贊同に依り着々進捗せる由巳報の如くなるが此計畫に對しては清室は全く受動的地位に立ち素より直接の關係なく清室優待案の未確定なる現在に於て斯くの如き運動を起すはその前途に多大の累を及ぼす可きとなし清室大老等の憂慮一方ならず現に載濤、貝勒等は瑾瑛兩太妃に奏明し徐世昌氏と會同したる上政府に對し外間喧傳の復辟說は宜しく嚴禁すべし若し清室に不利の事あらんか民國政府は優待條件に準據して其全責任を負ふべしと聲明したり（北京）

○蒙匪軍襲來說

海拉爾方面に蟠踞せる蒙匪軍は過般露人の手より飛行機數臺を買入れたるが彼等は本月末迄に飛行機を以て林西開魯方面に襲來すべしとの情報某處に達し熱河都統及び奉天官憲は警戒を嚴にせりとの說あるも容易に信じ難し（奉天）

○黑龍省分治か

黑龍省々長兼督軍畢桂芳氏は元來文治派出身にて軍事は其長所に非らざるに黑省には昨年來蒙匪の巨魁あり畢氏は其討伐に焦慮苦心する事大方ならざる上同省軍務會辦兼騎兵第一師長許蘭洲は兵權を以て常に畢氏を壓迫し畢氏排斥派の中堅となり畢氏は蒙匪の外常に此內患に惱され幾度か北京政府に督軍辭任を申請せしかば政府も軍民分治の必要上且つ許氏との折合上愈々之れを許可して畢氏を省長專任とし許氏を督軍に昇任せしむるの意向ありと（北京）

○內地大連電信

朝鮮經由案如何

內地大連間電報發信數の激增せる結果現在の大連佐世保間海底電線に尙ほ一線を增設すべしとの議は夙に管理局よりも意見を具申し又當地商業會議所は政府當路に向つて建議せんとし研究調査中なり其後聞く處に依れば此希望を達し得るや否やは其費用支出の途あるや如何の問題にして增設の必要なることは當路者等しく認むる所なり而して之が敷設の爲佐世保大連線は約百六十萬圓、下の關大連間は百八十萬圓を要する計算にして之が支出は都督府に於ても政府に於ても困難事なり故に一策として大連より朝鮮を經て陸路釜山に出で釜山下關短距離の海路を採り下の關に至る線を選定するとすれば其經費約五十萬圓を以て完成し得べし而て費用は遞信省朝鮮總督府及び都督府の三者負擔支出するの案を捻出し目下其筋に具申中なり該案にして朝鮮側之を承諾し臨時議會を通過すれば政府は敢て異議なかるべしと（東京）

○遼陽炭有望

遼陽縣尾明山炭鑛は昨冬奉天財政廳より技師を派し機械を以て之れが採掘を試みたるが出炭量豐富にして其質亦牛心臺炭に讓らずと（遼陽）

○鮮布の新販路

吉林在住の某鮮商は最近京畿道より朝鮮布類十疋を輸入し試賣せるが該布は性頗る靱且つ白色にて夏服に好適するより支那人は頗る之れを歡迎し將來頗る有望なるが如し（吉林）

○美濃部總裁等歸任

元山視察のため十九日同地に出向したる美濃部鮮銀總裁井內調查局長曾禰秘書役の三氏は二十日午後十一時四十分南大門驛著列車にて歸任す

○檢印押捺と日割

今回府特別稅條例改正に伴ひ檢印を押捺さるべき人力車荷積牛馬車其他總めて多數なる爲め之等に對し一時に檢印押捺を爲す事は困難なるのみならず官民共に時間其他の關係上迷惑不尠に就き當局は各町別に日割を設け之に依り檢印押捺を執行する由なるが日割出來の上は新聞紙其他の方法に依り一般に公示する所あるべしと

○北鮮國境の輕鐵計畫

清會間不用輕鐵の利用策

最近間島方面を視察し歸京せる某有力實業家の間島並に國境方面にかける時事談左の如し

▲間島輕鐵計畫　清會寧間に陸軍省が敷設したる輕便鐵道は既に清津會寧間の三十餘哩竣工し又今夏を以て會寧間の十餘哩も全通の豫定に付其の不用輕鐵を如何に利用するかは當局並に國境方面民間有力者間の問題となり居れり其の一計畫として會寧對岸の豆滿江畔より日支合辦の形式を以て經營しつゝある間島天寶銅山に至る十餘哩に之れを敷設し右銅山の粗銅運輸を主とし銅山附近の物資需給に充てしめんとするもの生れ居れり右に就て吾が當局は軌道貨車等の貸與に異論なき模樣なれども支那側に於て諸種の關係上進捗を妨げ居るものゝ如く銅山に關係ある後備陸軍主計監濱名寛祐氏は今春來北京に赴き其の運動をなしたるやに聞けり旁々其の實現の如何は今日に於て豫斷し難きも要するに吉會鐵道敷設期の何ほ未定なる今日本輕鐵の敷設は單り銅山經營上有利なるのみならず間島物資輸送上清會線の全通と相俟つて朝鮮對間島貿易に及ぼす効果大なるべく同地市民は其の實現の一日も早からん事を切望しつゝあり

▲國境第一線輕鐵　同じく淸會間不用輕鐵の軌道を以て淸會鐵道古豐山驛より豆滿江岸に沿ひ穩城若くば慶源に至る國境第一線に輕鐵の敷設をなすべしとの聲も北鮮有力者間に唱へられつゝあり唯だ該計畫は未だ何等事實に現はれざれど國境有力者の意氣込と當局の態度如何により其の敷設の實現至望に非ず本線にして通ずるに至らば現に間島產物の吉林并びに琿春經由は著しく該輕鐵により淸津經由に略取し得べく又之れを軍事上より見るも必らずしも徒爾の鐵路に非ざる如し

▲間島の鮮支人　間島の鮮人は十四萬人の多きを算するも支那人は四萬と稱し僅々鮮人の四分一強に過ぎず、從つて豆滿江を越ゆ間島に入るも行人多く同胞にて殆んど鮮地を旅行するの感あり唯經濟上の勢力は鮮支人間の人口數に反比例し鮮人の富力は微々として云ふに足らず其最も有力者にして僅々三四萬圓の資を有するに過ぎずとの事也而して在留內地人の財力又微々たるものらし

▲淸會線と間島　間島貿易の吞吐口は現に三途あり吉林經由琿春經由會寧淸津經由之れなり數年前までは淸津會寧經由は總商の三分內外に過ぎざりしが最近は淸會間交通の整備と浦鹽の雜沓による琿春通過貿易減少等により六分內外の淸津通過を出し居るとの事なり若し明年に至り淸會線全通し更に間島若くば國境輕鐵にても通ずるに至らば間島の全貿易は殆んど吾が淸津に移るべきか又運賃諸掛りの增高により今日淸津に輸送して引合はざる大豆の如きも淸會線全通せば淸津搬出採算可能となるべきを以て其の作付の增大を見るべく要するに淸會線全通後の間島對淸津會寧貿易は著しく增進するならん云々

○仁川選舉混沌

激烈なる白兵戰

餘す處僅か一日に切迫したる仁川學校組合議員選舉は大勢既に定まりたりと雖も何分立候補多數なる上に競爭激烈なるを以て當選落選の豫想だに試むる能はず況んや最高點者に於てをや形勢は全く渾沌として吳越何れが勝つか今遽かに逆睹し難き者あり然れ共

▲一般の呼聲にては田中平山兩氏頗る優勢にて雖中田中氏は確實なる得票百二十票ありと揚言し多少運動の手を弛めたいとの事、果して豫想通りの得票あるや否やは前年の番狂はせに徵しても瞭なれば比較的優勢なる高木氏の如きは五十票を豫想し居れども實際數は三十票前後に過ぎざる可しとて緊張の度を弛めざる由谷野氏は

▲必勝を期し（關はざる可らざる事情あれば熱心に運動し居るも多少立遲氣味の感あり惡戰苦鬪は同情に堪へざるものあり稻田氏は從來の地盤を他方面より侵蝕されたる形勢日に非にして頗る不安狀態に陷りたるが某々有志は反つて此れに同情し氏の如き人物を落選せしむる能はずとなし居れる由山下氏も又同樣每日數通同情の手紙舞込み居るを以て氏は感謝に堪へずとて

▲男泣きに泣き居れるが十八日頃より商業專修學校卒業生數名は遙かに奮起し舊師の爲めに運動を開始したるを以て大いに感動せしめつゝ有り、淺氏は吉金安保辻川の諸氏の運動大いに勗め居るより形勢日に宜く、和田氏は十九日夜各方面に運動の手を擴げ大勢を發展せしめたるが、地盤絃故無かりし丈けに努力を要する模樣なり、廿日は日曜日なるを以て各候補者は官吏會社員の私宅訪問をなす者多し（仁川）

●平壤壯丁成績

過般平壤聯隊に於て施行せられたる徵兵檢查成績を聞くに受檢者の數は二百名にして其內の合格者は百四十八名なりし而して受檢者中教育程度の狀況を聞くに尋常小學校を卒業せし者七十名尋常及び高等小學校を通じて卒業せし者八十四名中學校を卒業せし者九名而百六十三名は卽ち國民教育の終了者にして此種の成績は前年に比較して漸次良好となれり然るに一面體格檢查の狀況を見るに二百名中十一名の梅毒患者を有しトラホーム患者又二十三名なりしとトラホーム患者の十一割半は內地に於ても其例を見ることなきにあらざれども梅毒患者の五割半は異に憂ふべき事實にして此原因たるや反面に於て植民地の風紀頹廢を證明せるものありと某將校は語れり（平壤）

●平壤逐鹿激甚

十八日に於て決定したる平壤學校組合議員は更に十九日の午後に至り小口源一及び中平岩藏兩氏の立候補を報じ茲に候補を聲明せざりし大橋恒藏氏は府の有力家より暗に推選されたる事實を知り十九日午後一時頃に至り斷然辭退すべく推選者側に申込みたるところ推選者側は豫め豫期せし事のみならず此際大橋恒藏氏の辭退を容認するが如きことありては折角の苦肉の策も水泡に期する所以にして且又選舉界の根底を覆すものなりとて躍氣となりて大橋氏宅に押掛け同氏の辭意を飜へさしむべく說得したる處同氏も全く平壤發展の爲めにする推選者の意を諒として受諾することゝなれり然れば十九日の形勢に於ては各候補者の得票數に大變動を來し各候補者の運動益々猛烈となりたり、殊に前記小口源一及び中平岩藏兩氏の突然運動を開始したるに至つては二十日夜より選舉時間前迄に更に興味ある變化を來すべく觀測せられつゝあり因に候補者の員數は合計十九名即ち議員定員數より五名の過員となれり（平壤）

開城

▲軍人會射的會　開城在鄕軍人會にては本月二十日南山麓の射的場に於て射的會開會の筈なり▲門脇訓導轉任　一昨年來開城小學校訓導として生徒並に父兄間の信賴厚かりし門脇やそ子は此度忠南洪洲に轉任し去十九日出發したるが見送の人構內に充ち生徒中には離別を悲みて聲をあげて泣き出したる者少なからず側の見る目もいぢらしかりき▲スミス宣教師　在京城スミス宣教師は十九日來開內地人信者求道者のために北部禮拜堂に於て說教をなせり▲教師增員　開城小學校にては本年度より一名の囑託教師を增員する事となり生田某氏來任せり

●鯖の米國輸出

農商務省水產講習所助教授中山留八、長崎縣水產試驗場技手內藤謙三郎の兩氏は十八日釜山に著同日直に巨濟島、長承浦に向け出發したるが右は今回農商務省より一千圓の補助を受け長崎縣水產試驗場に於て米國向輸出鯖試製の原料買收の爲めにして今回巨濟島に於て生鯖一萬尾を買收し同試驗場所屬の飛龍山に積入れ長崎に輸送し試製を爲す由なり（釜山）

●重要問題協議

釜山の有志者を代表し或る重要事件に關する要務を帶び十七日京城に赴きたる大池忠助、迫間房太郎、香椎源太郎の三氏は十九日歸釜し結果報告及び將來の運動方法に就き協議を爲す爲め有志者十數氏と同夜鳴戶本店に集會し凝議をなしたりと（釜山）

木浦

▲木浦珍島間航路　從來珍島行貨客は總て帆船を以てせられ不便尠からざりしが今般當地木浦組にて發動機船第七蛭子丸をして木浦珍島間木浦柴山浦間を隔日に運航せしむることゝなり來る二十日初航を開始すと云ふ尙ほ珍島航路は寶佐島に寄港する由なれば珍島方面貨客の利便は至大なるべし▲三銀行成績　當地三銀行の營業成績を聞くに預金預り高二百〇六萬八千六百四十二圓拂戾百七十二萬二千八百五十五圓月末現在百四十四萬二千三百〇一圓貸金貸出九十一萬八千九百卅圓回收九十八萬一千五百四十圓月末現在百二十二萬〇七百六圓手形仕向七十萬六千〇十一圓被仕向七十五萬三千四百四十七圓なりと▲學校組合會議　十八日午後一時より府廳樓上に開催當地學校組合現議員の最終會議は寄附採納其他の案件を附議し最後に檜本府尹は各議員に對する多年の勤勞を謝し賜田議員之に對し挨拶をなし午後三時閉會せり▲長官博士去來　小鹿島慈惠院開院式に列席したる宮木道長官芳賀總督府醫院長の一行は豫定の如く十八日正午扇海丸にて歸港上陸少憩の後一本松配水池共同墓地火葬場屠獸場を視察し午後六時の汽車にて出發光州へ向へり

靜なる光州

湖南線車中　山崎生

稀なる序なれば十五日光州に立寄り申し候。偶々栅瀨代議士と同車す多博士乘車、全州、群山視察の上水原に歸任の由に候。此邊沿道に散見する竹林は南鮮の一特色にて、道にても保護金を與へて栽培を獎勵しつゝあれども昨冬の嚴寒に竹の葉は見る哀れに枯死し、見渡す限りの新綠の中に獨り春に後れ居り候。○光州にては先づ以て道廳を訪問することに致し候。光州に立寄りたるは全く道廳に就きて道內一般の模樣を知らんと欲したるが爲めなり。然るに宮木長官は來客中、而して佐藤一部長綾田技師は不在、吉村二部長今村事務官は共に病中なりといふ、除儀なき次第なれば長官には後刻を約して警務部に參り候。驪澤大佐は管內巡視中のことは木浦にて承知し居りたれば馬場副官に刺を通じて面會致し候。副官は初對面ながら郞る要領を得たる心持よき軍人に候。自ら地圖を携へ來り、統計表を示して管內の狀況を委曲說明致され、大略會得することを得申し候。長官は約束通り再度往訪したれども遂に其意を得ず。○道廳は最早之にて打切り、踵を廻らして今村事務官を官舍に見舞ひ申し候。病原は勉强過度の結果と推察致し候。元氣は却々に旺盛なれば間もなく全快と信じ候。久方振りの面晤なれば京城談に花が咲き時の移るを忘れ申し候。それより民間の有力者三四氏を訪問致し候。民間にては森工銀行支配人、松田學校組合管理者、古野商工會長、作川光州日報社長等が主なる人々の由に聞き及び候。森氏は文學士なりとは珍らしきことに候。端なく元日の出學校に居りたる三浦君に邂逅致し候。不相變ラッケットと親しみ居る由に候。○木浦に比すれば光州は一段と靜にして眠れるが如くに感じ申し候。されど木浦を前垂式と見れば光州は羽織袴式と可申候。羽織袴と申したき成の致したる所も有之候。但し木浦の前垂は質實に眞面目なる前垂に候。開港地たる木浦と役所本位の光州との間に於て、如斯は當然の相異なるべきも其當然が外來の一平民の眼には露骨に映ずる丈けのことに候。民間に餘り活氣なければ官民權衡を失して、地邊にして吏徽など申すことになるべく、兎にも角にも土地の繁榮の爲めには民間人士の活氣が何よりも大切なる要素と被存候。○光州は內地人三千弱に候。奧地事業經營者の增加に伴て年々幾千かの增加を見つゝある由に候。街衢は市區改正行はれて整ひ居れども未だ畑の儘なるも少なからず見受け候。電燈は來る六月より開業、水道は無等山麓の溪間より水を引く計畫にて六月には起工式を擧ぐる運に至るべく又光州松亭里間輕鐵計畫も進行中の由に候。此等實現の上は面目一新可致候。不一。（十六日）

人事消息

▲ヘルベルソン氏（香港民政長官秘書官）　十九日午後仁川より入京
▲木尾虎之助氏（辯護士）　十九日午後土城へ
▲京城駐在英國領事　十九日午後仁川より歸京
▲フレンザ大佐（救世軍）　十九日午後沙里院より歸京
▲閔泳綺伯爵　十九日午後大田より歸京
▲高野省三氏（三井物產京城支店長）　十九日午後義州へ
▲嚴柱日氏（李王世子附事務官）　二十日午前東京へ
▲淺田賢介氏（公州地方法院長）　二十日午前出發赴任
▲間島視察團一行　二十日午前水原へ
▲久水外事課長　二十日午前仁川へ
▲張伯茨氏（天津青年會幹事）　二十日午前入京鐘路青年會館へ
▲京城駐英國副領事▲同米國副領事　二十日午前金村へ
▲森安連吉氏（醫學博士）　二十日午前平壤へ
▲支那選手七十四名（極東オルンピック出場者）　二十日午前通過北行
▲岡部茂商務省技師　二十日午後水原へ
▲伊藤靜太氏（農商務省技師）　同上
▲佐々木藤太郞氏（慶尙南道長官）　二十日夜退京の筈

囚人の自治團　浦鹽の頃日

自由!! 自由!! 自由の叫び

◆◇◆兵士も自由平等主義の下に毎日兵營から◇◆◇

◆◇◆自由に外出して各自勞働に從事してゐる◇◆◇

最近浦鹽から歸京した露西亞產の青木敏郎氏曰く『革命後の浦鹽は

□市内の秩序が以前よりも一層よく保たれて飲酒や賄賂等の取締りは餘程嚴重となり總てが眞面目となつたやうである、殊に西比利亞及び歐露へ輸送する鐵道貨物の如きも四民平等主義でドシ〳〵各自が働くから餘程事務が進捗する樣である

◆また役人の方では總督ゴンダツチ氏が獄に投じられて以來代りに西比利亞選出の代議士が新政府行政執行委員長として來てゐるが其の下には市長及び市會議員が行政を執つてゐる、現に市長は舊政府の市務知事の仕事をやつてゐるのである、警官は總て歐露の戰線に送られ代りに兵士及び勞働者の巡査がゐる、しかし水上警察及び港務官は市長の方から

□監督の兵士を遣つて從前の人を使つてゐるが稅關吏も手馴れた人がゐるのでこれと同じやり方である、先般内地邊の噂には浦鹽市中が無政府狀態になつたと傳へられてゐたがこれは針小棒大の訛傳であつて只在留邦人が領事館に集つて自衛團を組織しようとしたことによるらしい、尤も

◆先般浦鹽の街は拳銃强盜が横行して邦人の被害も尠なからぬものであつたがこれは新政府と共に一般の囚人を解放した爲め國事犯人以外の惡漢までが野に放たれたのでそれ等が再び惡事を働らいたのであつてこれは明かに新政府の失態であらう、舊態依然で今や露人の中には自由と無秩序亂暴とを一緒にしてゐる連中が多く現に先般も

□監獄の裡で囚人の自治團が出來たといふ珍妙な現象もある位であつて彼等は每日監獄内に起臥しては市中に隨意働らきに出るといふ始末、また黑龍江のある地方では本國から自由の電報が來ると共に勞働者兵士は一團となり警察及び稅關を襲うたこともある、それで兵士もみな自由平等主義で每日每日兵營から自由に外出しては勞働してゐる有樣、無論勞銀は自分の懷中に入るので働くものである、されば

◆勞働者の如きも頗る鼻息荒く現に先日入港の汽船の如きは從來の慣例により一日（朝の六時より夕方の六時まで）一留廿哥の賃銀で支那苦力を傭たところ露人の勞働者はこれを追拂ひ勝手に下手な掛らぬ荷役をはじめたはよいが賃金は一時間七十五哥で夜間は一時間一留といふ請求、この爲め從來船會社の運賃は浦鹽埠頭の荷揚賃まで含むでゐたが目下は船の

□積卸し賃銀を別にとることとなつた、貿易の方は先般軍需品以外の個人貨物は輸入禁止となつたけれども港務官の許可を保たるものに對しては特別の取扱が能きる

◆安平丸で安產

十七日午前元山に入港したる安平丸に淸津より乘船せる下關行三等船客長崎縣長崎市築町時津繁太郎妻なか子（三七）が急に產氣付き折柄上陸中の船長事務長等は此の報に接し醫師を伴ひ歸船し手當を加へ居る中なか子は無事女兒を分娩するに至り船員一同は之れ吉兆と喜び早速赤飯を炊き船客一同に供すると云ふ騷ぎを爲したり船長は同女兒に對し安平丸の頭文字を取り安子と名付けたりと云ふ尙ほ母子共に頗る健全にて其儘下關に向ひたりと

◆北西鮮には恁んな犯罪が多い

◇◇◇文化の程度は北鮮より西鮮が優つてゐる◇◇◇

新京城地方法院長　勅使河原健之助氏談

（平壤地方法院より京城地方法院長に榮轉した勅使河原健之助氏は十九日午後入京、京在せる途中新義州迎へたる記者に語つて曰く）

自分は咸興には五年許り居つた、平壤には二度目の勤務であるが先づ自分の觀た所では一般に北鮮の人は頑固であり西鮮のものは

✕殺伐の氣風があるやうだ、西鮮の人が此の氣分を抱懷してゐるのは古來支那との關係が密接である爲め久しい因襲に依つて刻み込まれた痕跡であらう、併し判裁所に現はれる犯罪の種類としては何所も別に變りはない、夫れから文化の程度は西鮮の方が幾分優れてゐるやうだが山地深く道入つて行つて見れば北鮮地方の

✕道路の開通してゐるには驚く位である、間島境ひになつてゐる豆滿江沿岸で北鮮の最も東北に行ける道路がある、而しろ成鏡道は南北に長い咸南一道だけで内地の九州に四國を加へ之れを剛斷した程の廣さである、西鮮北が人口は割合に稀薄である、地方も目下道路が開鑿されつゝあるから漸次

✕交通の便を得ることになる、北鮮西鮮共に犯罪事件は京城などより尠いが、偶には却々慘酷な殺人事件などもある、是等僻陬な朝鮮の地方部落には本夫殺し嬰兒殺しのやうな女の犯罪者が時折出て來る、例へば商人にしても行商者が多く勞働者にしても各所に出稼ぎする者が多いが此の場合多くは家に妻子を殘して置いて自分獨身で出廻る樣な都合や

✕境遇上から已むを得ず長年となく實家に歸れず女房は其の間空しく孤閨を守ることになるから茲に一の錯誤が出來ずとも限らぬ、其の結果前記のやうな犯罪の醸される場合がある、又民事に關する訴訟事件の如きも田舍の地方では概して繁緒が少く頗る平和なものである、而して北鮮とも京城や南鮮地方の者に比較して幾分

✕權利義務の思想が遲れてゐるかも知れない、遲回の間島派遣の京城觀察の如きは實に時宜に適した事で北邊や國境地方の者に取つては新面目を施すことで喜ぶべく觀ねばならぬ部分與つてゐる所が多いであらう

女かくす舟離るゝや柳垂る　漢江にて

◉我子を慘殺す

全南光陽郡玉谷里元月里李聖九（三九）は昨年の十二月中旬頃より精神に異狀を來したるより妻子と共に弟弼錫が引取り始終監視人を附し戶外には出せしめざる事とし居たるに今月十五日聖九は庭に降りて與喰の自己の長女鳳逢（八）が藥摘の爲め籠を携げて自宅より數町を隔れたる端に赴きたるを何と思ひたるもの聖九は傍に在りたる朝鮮鋏を携へて娘の跡を追掛け前記河端にて餘念なく草を摘みつゝある現在の娘を突押し倒し後頭部を只一擊にて即死せしめ自宅に引揚げたるを近所の者が發見して大騷動となり光州分遣所より憲兵出張の上聖九を拘引せしも狂人の事とて直に釋放し實弟に命じて嚴重拘禁せしむる事となり娘の屍體は檢視の上矢張り弟に引渡されたるが此の悲劇を見たる弼九の實母（六〇）も亦精神に異狀を來したりと

◉民間飛行家と新聞記者　飛行機より墜落して即死

二十日午前九時二十分日本飛行學校の玉井章太郎氏は芝浦のグランドにてグラハムホワイト式第三號機に東京日々新聞記者湯川某を同乘せしめ築地三千米突の空を飛行し著陸せんとして三十米突の處に下降したる際左小翼折れ機體眞逆樣となりてグランドに墜落し火焰に包まれ二名共即死せり（東京特電）

◉消防義會の研究會

京城消防義會研究講演會は十九日午後一時半より鍾路警察署樓上に於て開會したり聽講者は主として警察官憲の人々にて警務總監部各課長警務部長府內各署長以下憲兵警察官消防手等約二百名に達し先づ限部消防義會長の挨拶ありて直ちに今村氏の爆性危險物の性質、取扱法等の講話あり又は山形氏の自動火災報知器の實物講話實驗等あり何れも頗る有益の研究なりき

◉儒城温泉記者團招待

大田儒城温泉株式會社の記者團招待は二十日正午より同會主人側内藤、迫谷、藤井、大野、鈴木（佐衛）、鈴木（松）、田中の諸氏記者團は大坂朝鮮時報、山口大邱特派員、池田同特派員、吉岡滿洲日々新聞特派員、木村京城日報記者、小橋朝鮮新報主幹、渡邊木浦日報記者、横濱京城日報大田支局長にて一同入浴の上公園地に設けたる天幕内にて晚食し主人側を代表して内藤氏記者團を代表して大垣氏の挨拶交換あり大田より招きたる紅裙十數名酒間を斡旋し互に歡談を盡し和氣靄々の内に午後五時宴を了り大田に歸れり尙一行は一時より湖南日報及び大田、裡里、群山の記者團が發會に臨む筈なり（特派員特電）

◉女を使つて窃む

京畿道水原郡長安面梅亭里禹鍾烈（三一）は同里の國仲賈業李元根（六二）が所持金あるを探知し五月十一日夜八龍面梅倉里李鍾夏の妾飲食店經營崔貞淑方（二七）に誘致し酒を飮めて泥醉せしめたる上貞淑と同衾せしめ根の熟睡中其の所持金三百七十餘圓を貞淑に拔き取らせ共謀の上同家の土間の穴に埋匿したることを水原署にて探知し鍾烈貞淑の二名を引致目下取調べ中

◉京都府下大火

十九日京都府與謝郡三河内村廣井治助方より出火六十戶を全燒し損害甚大なり（大阪特電）

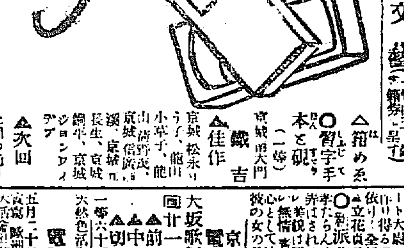
◉强盜片割捕はる

全北井邑郡淨土面梧琴里殷迎目方に去る二十六日夜七名の强盜侵入し家人を脅迫して莫大なる金品を掠奪して逃走したるより古阜憲兵派遣所にては引續き該犯人捜査中本月十一日同郡梨坪里醴洞にて擧動不審の四人連れを認めたるより引致取調べの結果四人共强盜を働きたる片割れにて金斗萬村鎭吉を利石姜太五なる事を自白し目下餘罪ある見込みにて留置取調べ中なるが尙逃走犯者の行方搜查中なりと

◉漢江に溺死體

十六日午後一時頃龍山三村洞所在石油庫下の漢江沿岸に住所氏名不詳年齡七十歲位の鮮人男の溺死體漂著し居るを發見し龍山憲兵分隊より憲兵出張檢視せしが死後五日位を經過し居り外傷等なく自殺を遂げしものゝ如く屍體は京城府へ引渡せり

讀者文藝（一等賞五十錢　佳作一部づゝ呈す）



△箱め系

○習字手本と硯（二等）

京城南大門　鐵吉

▲佳作

京城　松永りう子、龍山　小草子、龍山　尚武、京城　倍房、京城　長生、京城　九溪、京城　銅半、京城　ジヨンアイデア

▲次回　上圖の通り

◉見信大師降誕會

若草町曹洞宗別院にて廿一日は宗祖見信大師の誕日に相當するを以て同日正午十二時より說教並に口演あり午後一時よりは數氏の餘興ある筈

灯ともし頃

安邊の花井といふ人からのたよりに曰く道回李王殿下釋王寺へ御成りの際金剛山へ御下賜の金左の如し△釋王寺へ金一千圓同寺貧窮民へ奬勵金百圓△佐瀨氏の鰯養魚場へ二百圓、公私立學校へ二百九十圓、安邊郡文山面七十歲以上の高齡者へ酒饌料として七十二圓五十錢△序に咸鏡南道の名物男といふのが二三人ある中で元山府臨の眞戶計太氏がなか〳〵の評判△此の人はチヨイ〳〵變手の癖も藥代りに凡そ元山を通過する名士といふ名士には一々ステーションまで送迎する△しかも自分一人の考へで往つて只遠方からヒヨイと敬禮して還るといふ變り方△その次ぎが元山府廳の田中愛之助氏で三十餘歲未だ娶らずアーメンと座禪を一緒にやる△平素頗る書が横好きで誰れにでもかいてやら〳〵と攻め立てる人△矢鍋稅關長の文句が面白い『あんな人物は怜悧な人間許りの中で一味の清涼劑で頗るよい』と△お次ぎが成興の草分け玉置商店主で此の人は一度仕入れた商品が自分の考へた指値に上るまでは何年でも倉に貯へて置くといふ堅實なやり方△店にはわずかばかりの品をならべて倉庫にはウンと藏ふといふ振り方で先づ此邊らが名物ぢやらうといふ噂

◉訂正　十八日夕刊二面所載佐藤少將の七絶中誤植あり左の通り訂正す

揚東進西無敵影、只鬪孤陣遠驟壯

（懸賞文藝）課題及び募集規定

◉募集規程　用紙は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲掲載の集稿毎に用紙……

口演藝案内

櫻井町　大正館　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

▲五月十九日より新寫眞提供（入場料普通）○實寫歐洲美人風俗○寳劇羊生のピアノ……○滑稽活劇チヤプリンのなぐ合ひ（全二卷）○史劇上野戰史天野八郎（全三卷）……○軍事活劇第十二快漢ロロー（第十九卷……）○新派悲劇いろ姿（全三卷）……

京城壽町　壽座　電話五七八番　大阪歌舞伎中村梅昇一行

▲前　伊賀越道中双六　▲中　八百屋お七　▲切　大藏……

黃金館　電話二六三七　六五二

▲五月二十日より臨時特別大興行……▲新劇俳優……◉徹頭徹尾大活劇「ボーリン」（第一第二篇）……◉新派悲劇「ろ運命」……▲新派悲劇……

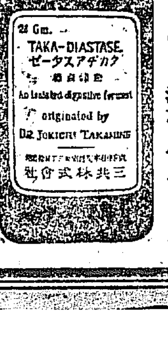
有樂館　電話（階上）四九七番（階下）二〇五番

▲五月十八日より特選映畫提供……米國ユニヴーサル會社特約……▲泰西人情劇「ロツキー嵐」（全三卷）……▲傑作大好評のルーフ氏の喜劇……▲全三卷……

御成座　電話一九一番

都新聞連載　▲辨天寨子　中村正男刑事の苦心　▲柳生漫遊記　▲豐臣出世錄（浪花節）……

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部



タカヂアスターゼ

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり

類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

●本劑は粉末及錠劑の二種あり
●本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町　三共株式會社

内科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七　九二九番

各種萬年筆即時修繕　京城旭町二ノ六　東京パイン萬年筆直賣所

資本金參百萬圓　明治三十八年立

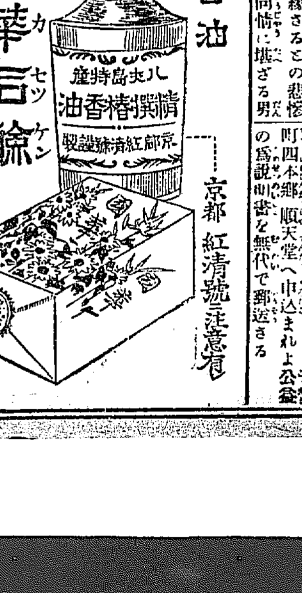
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通一丁目十四番地　株式會社　漢城銀行　長　男爵　李允用　專務取締役　韓相龍

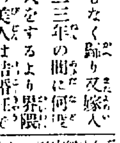
電話　六四六番　二三九番　振替京城一八六二〇五

支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

内科　小兒科　入院隨意　京城府龍山元町　榮野醫院　電話二〇四番



八丈島特產　精撰椿香油　牛乳二優　國華石鹸　みやこ紅　白粉　都の雪　關西特約店　本舖　紅清號　京都紅清號注意有



●わきが化學藥の奇効　結婚狂の美人？

嫁入りをしては間もなく歸り又嫁入りをしては又歸り二三年の間に何度も嫁入をするより界隈であの美人は結婚狂ではないかなど蔭口を言はれて居る女の裏面に入つて見るとわきがの爲め嫁入する度に新郎に嫌はれ離縁さるとの悲慘なる事實に想到せば同情に堪ざる男

女のわきがも東京で我信顯せる本郷順天堂が苦心し發表されたる化學藥の新發明により即座に臭が消えて秘密的に治癒さるゝに至り多年頑固で治療に手を盡し効なかりし人も治癒して大喜びをなしつゝあり世上に悩れの藥なきは最早見限りハガキで東京市本郷區春木町四本郷順天堂へ申込まれよ公益の爲說明書を無代で郵送さる

◉家四名の中毒　慶南昌原郡鎭海面慶和洞酒商李在華（七〇）方にては五月十八日午後八時頃家族五名の……異狀なかるべしと

◉釜山に赤痢發生　釜山府南濱町一丁目……の初發患者なりと（釜山）

給……陸客　五月十八日……

一、長尾つる、齊藤司郎、關山猛夫、今野諦穆、小倉兵二郎、寺田金次郎、成島菊次郎、木村菊丸、岩田まき、岡まさ子、加茶勇二、堀內すき、栗林惟、梅山たみ、平野宗三郎、岡村布人、同ふじ、石澤來太郎、加藤捨次郎……三等（二百四十二名）

馬丸二二號客　五月十九日午後十時五分釜山入港對……

天氣　くもり　曇り　五月廿一日

……に食したるに約三十分の後……妻李福連(六)三男甲連(三)二男の妻……神連(三七)の四名は何れも中毒した……り下痢を爲し容體容易ならざるより十二日醫師の診察を受けしに赤痢と判明し直に避病院に收容し患者に……

オトギバナシ 太郎と白紙

散り殘りの櫻の花がヒラ〳〵と散る靜かな日でありました。その日太郎は、お縁端に腰をかけてヒラ〳〵とお庭のお池に散りこむ櫻の花を眺めてをりますと、一枚の白紙が、お父樣のお部屋からヒラ〳〵と飛んでまゐりまして、太郎の傍にすり寄り、

『もし〳〵太郎さん、あなたは何を眺めていらつしやいますか？』

と聲をかけました。太郎は誰が來たのか知らんとびつくりして振り向きますと、聲をかけたのは一枚の白紙でありましたので、これは不思議なことだと思ひながら

『お前はたゞの白紙かね？』

と尋ねますと

『へい〳〵たゞの白紙でございますとも、御覽の通りのたゞの白紙でございますとも。』

『さうかね、でも妙な白紙だね——僕は今、お池に散りこむ櫻の花片を眺めてゐたところなんだよ。』

『あ、さうですか。それよりも面白いことがありますよ太郎さん。』

『面白いことつて、どんな面白いこと？』

『私はね、白いものになら、どんなものにでもなれますから、あなたの好きな白いものにして御覽なさい。』

太郎は驚いて、

『さうかね、それは面白い。鶴にだつてなれるの？』

『なれますとも。なつてお目にかけませうか。』

『なつて御覽！』

白紙は見る間に一羽の鶴になりました。太郎は鶴になつた白紙を見上げ見下し、

『綺麗だな、綺麗な鶴だな』

『今度は何になりませうか。ね？太郎さん』

『今度は雪達磨になつて御覽！』

『雪達磨？へい〳〵お安い御用！』

と鶴になつてゐた白紙は、羽ばたきを一つしたかと思ふ間に、五尺ばかりの雪達磨になりました。太郎はすつかり感心しまして、

『見事々々！』

『今度は何になりませうか太郎さん。』

『さあ今度は？さう〳〵源氏の白旗になつて御覽！』

『たゞの白旗にしかなれません。八幡大菩薩なんて字なしの、たゞの白旗で御免下さい。それでも構ひませんか？』

『構はない〳〵、たゞの白旗で好いよ。』

『さうですか。それではなりませう。白いものになら、何でもなれるんですから。』

と雪達磨になつてゐた白紙は、見る間に白旗となりました。太郎はその白旗を取上げて

『これに八幡大菩薩と僕が書いてやらうか。』

白旗は急いで飛びのいて

『いけません〳〵、字を書いてはいけませんよ。字を書くと白紙ではなくなるではありませんか。』

『だつてたゞの白旗では詰らないもの。』

『ではどうしても八幡大菩薩とお書きになるお積り？』

『書いても好いぢやないか。』

『さうですか。それでは私はこれで失敬しますよ。字なんど書かれちや堪りません。』

と云ひながら、見る間に元の白紙となり、ヒラ〳〵飛んでお父樣のお部屋へ逃げ込んでしまひましたとさ。

●商業校運動會

仁川公立商業學校にては二十日午前九時より朱安驛邊に於て春季運動會を催したり

●渡航婦人 の風俗取締の爲めに設けた婦人監督

郵船會社では渡航婦人の風俗取締のため婦人監督を設けたとあるが其第一船たる鎌倉丸は四月十七日沙市についた此の婦人監督は林たか子(四〇)さんといひ以前外人の家庭教師を勤めてゐた人である其感想談に『妾は不束ながら婦人監督に撰まれて初めて乘組みましたが呼寄せ婦人や

▲寫眞結婚 の婦人方は皆若い方許りで日本で聞いてゐたよりも豫想外にお行儀が正しく妾が相談ごとも好くお守り下さいましたので眞實に一家族の樣な氣になつて愉快に十七日の航海を續けまして……教育普及の結果でありませう渡米なさる婦人方は修養のある方が多い樣でありますお互に異郷に咲かす

▲大和撫子 の花も實もある實力を養成せんとする理想が斯く婦人の美德を發揮せらるゝものと妾は衷心から喜んでゐます、婦人監督といつても鳥渡がましい次第で只妾は御婦人方のお友達となつて專念に職務を盡したいと心掛けて居ります』航海中は何しろ始めての事で出帆當初は船暈を致し皆樣に御滿足を與へる

▲慰藉も何も出來ませんでしたが海上の穩かな日は皆さんと一緒に聞き覺ゑの讃美歌など唱へて樂んで參りました、今後は精々經驗を積みまして何か家政法などを皆さんに……十七日間のお友達乍ら船の著く前後は

▲お化粧から衣服の著方まで恰で學校行きの娘さんとお母さんの樣な格で一々手傳つて上げましたが愈々今日がお別れかと思ふとお互に涙が先に立つて隨分辛い思ひを致しました云々』斯くして郵船會社の新しき試みたる婦人監督の第一船は頗る好成績であるが耶蘇教信者でない若き婦人達は船中での讃美歌には聊か

▲面喰ひの 氣味があるだらうとの事である併し斯うして今後渡航婦人の間に忌まはしい噂の一つも立たず航海を續けて行けば船中の惡習も全然一掃せらるゝであらうとの事である

●平壌候補顔觸

平壌學校組合議員選擧も剩すところ僅に二日にして昨今の運動振たるや最も激烈を極め已に前日來報道せし議員候補者にして運動中止せし者あり又高島競爭者たりし石隈信乃藤本達次郎氏等の地盤も漸次切崩されたるやの風聞あり殊に三十乃至五六十票は丈夫と思ひし候補者にして已に累卵の危きに至れるものあり蓋し其原因たる全く新顔觸たる大橋桐藏淺井佐一郎竹中佐次郎氏の如き府協議員にして本人等は立候補として辭せざりしも選擧民より投票せんとするものにあるが如し又平壌に於ける有權者總數は七百六十餘名なりと云へども現に其半數三百六十餘名は官吏側にして道廳と法院とは結束し道府廳學校等又各結束して良候補者を選擧せんとするもの、如し此れが爲め最初より名乘を擧げて運動に餘念なかりし某々候補者等は最も憐れむべき狀態にありと噂せらる目下候補者として運動を繼續し且新顔として候補者と目せらるゝもの、氏名左の如し(平壌)

内田錄雄、松本哲(商業會議所議員)新野吉平(商業會議所議員)村井正明(商業會議所議員)石隈信乃藤本達次郎、脇坂喜之助(現學校組合議員)在間行太(商業會議所議員)遠藤忠次郎(現學校組合議員)永古莊仁太郎(現學校組合議員)淺井平次郎、平澤謙太郎、竹中佐次郎、(府協議員、商業會議所議員)淺井佐一郎(府協議員、商業會議所議員)大橋桐藏(府協議員、商業會議所議員)松尾六郎(現學校組合議員)

●潮流寒冷なり 月尾島外水面十一度三分にて昨年より四度低し

本月十八日の潮流觀測に依れば仁川月尾島外に於て水面温度十一度五分水底十一度三分にて此れを昨年同日に比すれば水面四度、水底二度二分の低温を示せり因に斯の如く潮流寒冷なるが爲めに魚類の來游例年に比して遲れたるならんと思はると某漁業家は語れり(仁川)

●藤の花未だ咲ぬ 凍傷で花が尠い

初夏の新緑が清新な風に戰ぐ頃になると青い水に適しい幽雅な姿の藤の花が咲き初める、仁川の藤として有名なのは本社支局の藤と、府尹官舍の藤などであるが本年は寒氣の爲めに凍傷して花は昨年の半ばにも滿たない計りか例年は十二三日頃には枝もたわゝに咲き盛つたのが本年は閏の關係もあるであらうか未だ四分咲の蕾みであるから滿開は何れ下旬になるであらう(仁川)

浄瑠璃便

●むつみ連の春季大會

●鶴々夫のむつみ連は十九日夜涼しい龍山八雲閣で春季大會を催した●花月の又此は若いが好い所がある今少し突込んで語つて欲しい●小きん人の柳存に存まれたのか氣取つてゐるのか四疊半式の節廻し、腹から聲が出るやうになれば上達する節●十六の白木屋、斯う云ふのか持ち消化すには少し早や過ぎるやうだが熱心に語つてゐるだけに丈八の人形は好く活躍してゐた●胡子の廿四孝、節廻しは幼稚なれど好き所あり、前受けはよかつた●石水の堀浦、熟練れた語り方なれど今少し情を致すことに工夫を要む●玉糸の隙鏈歌、聽取し可成あり語り方は斷錬なれどお弓とおつる應別が分ならず(以下糸鶴太夫)●兇水の櫻丸切腹無く確に聽き惚たへがあつたか今少し聲拔が糸の龍糸と息がぴつたり合つてゐたので惜があれば人物も一層活躍するだらうと思つた細評は今一度聽いた上で●寶登の機題し 糸調太夫●この節小磯ヶ原を聞いた時よりも同し節調しも上達したと思つたが時間の都合で後段は聽き漏らしたは遺憾、聽き直した上で細評しやう(鯛之助)

●漁期稍遲る 延平島に於ける

延平島に於ける石首魚は例年本月十日頃の大潮より盛漁期となり昨今は最も漁獲物の多き時期なるが本年は潮流の關係上石首魚の來游未だ微々たる者にて水揚高の如きも例年に比して四分の一內外に過ぎず二十一二日頃は大潮時なれば漁獲多き見込みなるがそれさへ覺束無しとて漁夫は大いに悲觀し居る模樣なるもこれ畢竟潮流が寒冷の爲めに游漁に多少の遲延ありたるのみ目下同島には漁夫商人等多數入込み非常の繁昌を呈し居れり(仁川)

●永登浦附近の細民

鮮人細民は殆ど全道を通じて例年春期に至れば生計難を訴ふるを例とせるが永登浦警察署管內九面中東西南面に於ける極貧者と認む可きものは約五百戸にして是等細民の生活狀態を調査する所に依れば多くは一日二食にして米以外の雜穀を主となし之に各種の草葉木皮類を混じて粥を製し漸く糊口を凌ぎつゝあり元來此地方は從來より一般に貧農者多く加ふるに昨夏豪雨の際他に比し著しく水害を被り僅少の貯蓄も全部消費し且つ冬季間他に收入なく益々窮乏の度を高めたるもの、如く就中北面の六面は例年の如く甚だしき困難を感ぜざるの觀あり而して右の內北面は內地人經營の諸事業者に雇傭さるゝ者千六百三十二名あり何づれも相當の賃金を得つゝあり

●平壌神社補助費

平壌神社本年度府補助費額は五年度の通り八百圓にして平壌府より此程平安道長官に下附認可の申請をなしたるが道廳に於ては目下審査中なり(平壌)

●原田博士の講演

來る二十二日(火曜)午後八時より南米倉町城基督教會に於て原田同志社大學長の『支那の將來と基督教』と題する講演あり一般の來聽を歡迎すと

●友枝未亡人卒業 故朝鮮通信社長友枝英三郎氏未亡人は過般同愛科大學助産婆養成所を卒業し此程入京櫻井町二丁目升本醬油店向ひに開業したり

●本能寺(永樂町廿二日午後八時)如月會の定期說教及び本門會の催あり

たいどころ

▲卯の花汁 味噌と卯の花を混ぜ合せたお汁ですが温かいうちに頂きますと又格別の美味しい味があります材料(四人前として)は卯の花茶碗に一杯みそ五十匁煮汁五合先ず味噌五十匁を摺鉢にてよく摺り五合の鰹節の煮汁にてゆるめのばし鍋に注し入れて一沸かししたる後卯の花を摺り鉢で摺つて入れ二三回ぐら〳〵と沸き立ちましたら鍋をおろし温い內に椀によく程注ぎ入れ薬味を細かくしたもの又は日本ねぎを薄く小口よりうつたものを一撮みばかり浮かして出します

スグ効ある最新最良の眼藥は

眞治水

特長 ○最新高貴藥を配伍す。○裝瓶は嚴重に殺菌消毒す。○効驗は迅速偉大なり。

●外の眼藥で効なき人試よ

主効 ○トラホーム○やにめ○はやりめ○うみめ○かすみめ○くさめ○其他眼病諸症に効あり。

新式點眼器付 十錢。廿錢 郵稅二錢

本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

醇良酒

仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

金剛デー

自廿一日より廿五日まで 左品特別一割引

金剛山 金剛飴 金剛糖 金剛羊羹 栗羊羹 二十錢

京城本町 龜屋 電話二十七 四七五

仁川 白神洋行 京城

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘

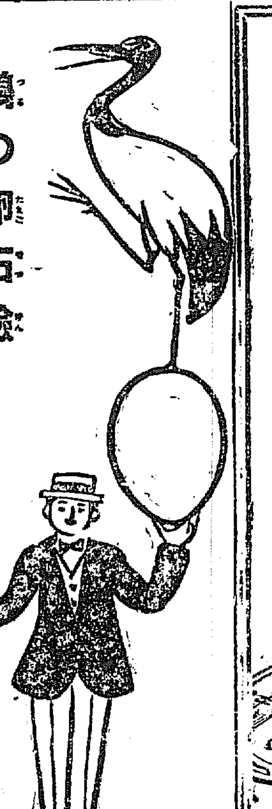
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他

新田帶革總代理店 【飯淵表御一報次第無代進呈】

天下一品

味噌の横綱 ほまれ味噌

京城太平通二丁目 日本醬油株式會社京城出張所 電話二四五番 九八二番



鶴の卵石鹸

古きを温ねて新らしきを知る

鶴の卵石鹸は廿年もの昔から賣れてる品ですが現今の石鹸に比較べて、品質がよろしい。德用である、經濟である、といふ事は一度本品を使へば確かに解ります。昔の使用者も新らしく一度使つて御覽下さい。引續いての需用者は何卒引續いてお使ひ下さい。未だ本品を使はぬ方は早速使つて御覽下さい。

東京馬喰町 淺井支店

安心第一

さして如何なる場合にも萬人に喜ばれる菓子は

森永ミルクキャラメル (煙草代用)

顧問 醫學博士 井波三郎 技師長 醫學博士 岡田[illegible]吉

袖珍 府及學校組合法規提要 京城日報社編纂

宇佐美內務部長閣下題字 小原農商工部長官閣下序文

內容 勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に添附したる例規の如きは最近七月に發布せるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より內地人、各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也

裝幀 携帶に便ならしめんため製本を袖珍とし紙數は三百餘頁總洋布天金製金文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せんが爲め每頁の上部約一寸五分を餘白とし更らに卷末に十數頁の白紙を綴込みて備忘要欄に供したるが如き以て本書編纂上に於ける用意の一端を窺ふに足る

▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔

大賣捌元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇 京城日報社代理部

……分釜山入港新羅丸……

▲一口 ▲下向付立ち上り

何番何號と明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局

豫報

明君道中記

第百五十一席 田邊南龍口演

川村靱負は二人の孫に向ひ短刀を取つて 靱『其方共知らざれば自害の程教へて遣はす、此合口を咽喉部に當て、突立てそれより横に切らば落命いたす、是が女の道、流石は川村の孫と云はれてくれ、又千之助は用意の短刀を持ち立派に割腹いたしくれい、其方等のみ迷途へ參るのではない、靱負も追て參らば其方は先づ自害をいたせ』靱負は跡に下り一刀を引抜きました是介錯の心、手を突き居りし千之助 千『御祖父樣の仰せ宜く判りましてございます、先私より自害いたしまする 靱『オー宜う云ふた、サアその覺悟にて疾くといたせ』千『ハイ』靱『是むつ其方千之助の最後を見屆けよ』と云はれましたが女子の事で身躰がブル〱と顫へる千之助は双肌を抜ぎましたが流石靱負の孫少しも動せず合口を引抜き腹部を撫せ 千『御祖父樣御介錯を願ひます』と左の脇腹にグサリと突通し双手でキリ〱と引廻したその振舞實に小兒とは思はれません立派に割腹をした永く苦しますは不愍と靱負は早くも孫千之助の首を刎ねた、藍は青より出て猶青し、氷は水より出て猶冷なり流石川村の孫で立派な生涯をいたしました、然し乍ら今日まで掌に入れて置きたき孫を現在我手で害すかと思へば靱負が心中は實に我々の推す事の出來ぬ程でございます、是斷腸の思ひとでも申すのでございませう、靱負三寶に千之助の首を上せました、是を傍に見て居たおむつは二足三足バラ〱と逃出した此時川村は 靱『待て、其方も我孫である、如何に女なればとて此場に至り逃るとは屆きものめ』と跡より追蒐け斬り下した一刀、むつの肩先より斜にサツトと切つた、アツと一聲、その場にバツタリ仆れました時、川村は仆れたむつの首を切り落しました 靱『如何して逃げんと心得たか、不屆な奴』おむつの首を千之助の首と並べました、斯する處へ遽にワーツと云大勢の聲 靱『扨は是は君公我死を決したるを推して是を止めんとてか』と靱負は兩人の孫の首を傍に押寄せた後自殺をすべく肌を脫ぎ小刀を以つて自害いたしました、此の時バラ〱と蒐付けましたは大野金太、村田源七、松居多左衞門を始めとし何れも近習の面々三十名餘が大音にて 大『君命に候、川村氏御自害を御思ひ止り給へ、君命にござれば御生涯をお止り給へ』と靱負の居間に來ればコハ如何に 大『ウーン、川村氏御自害なされたか 靱『如何にも先刻殿に御意見を申せど御肯入なく却つて御不興を蒙りし某故、迷途の先がけをいたす心底、依つて此段君公に御披露下されたく 大『是はしたり、早計つた事でござる、君公も殊の外御配慮遊ばし川村に於いては立歸り割腹いたすやも知れず早々參り其方が止めよとの仰せにて我々共是に罷越したる次第、されば斯る事をなされては……』フト傍を見ると二人の子供の首が三寶に乘てあります見れば川村が孫 大『オーツ川村氏、貴殿は千之助殿及びおむつ殿まで御…… 靱『さればさ、御覽になる通りの次第、彼等二人も此の川村の參るを刻一刻早く來れと迷途にて待つて居らう、甚だ恐れ入つたる次第なれど各々御見屆け下されたく、腹を一文字に掻切りました、今は最早如何んとも致方がない各々その樣子を見て居りますと靱負は一度腹に突し小刀を咽喉に當て美事に自害をして相果ました、大野村田松居を始めとして一同は早々此の事を殿に申し上げました。

書畫用 絖絹
京染呉服商 たまや出張店 京城永樂町二 電話一一九六

皮徽科
皮膚病 徽毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

徳用口付煙草 香王
京城本町吉尾商店 電二四八四番

りん病
消渇で困る方 多年の慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢添へ一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

ルーデサック 男用一打四拾錢上製六拾錢
形上壹個二十五錢女用一個七拾錢
月經帶一個八拾錢壹圓各種(送料要)
りん病 ばい毒 自宅療法 申込次第進呈
京城永樂町二丁目交番北 東京ドラック商會滿鮮本部

五月二十二日 九星 舊四月二日 甲子 本命九紫 南 危 大安

△九紫 浮雲の望事有る日落付て新事見合西す [illegible] △一白 一寸囲まる丶事ある日注意 [illegible] △二黑 吉利の日轉居入戸 [illegible] △三碧 [illegible] 笑て効た點す日轉居開業等共進て吉殊に女子の [illegible] △四綠 上品なる日 [illegible] △五黃 [illegible] △六白 不自然の事有る日新事手 [illegible] △七赤 [illegible] △八白 快活の日轉居入 [illegible]

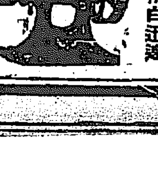
白さの異ふ點に於て新發見の
他に類がなくノリとノビとの優れて好い
ホーカー白粉

東京中の白粉の投票に當選第一等を得ました
●自然らしい白さにつく
●ノリノビが一等好い
●肌の營養劑を含む
●ツク力が強く化粧崩れがしない
●洗つた後まで白くなる
●肌アレ日ヤケを防ぐ
●匂ひ豊かに艶麗さを増す
定價一瓶二十五錢 送料内地無料、滿鮮廿錢
最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舗宛御注文下さい
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六 電話神田 特長一三四・一三五

結核治療並豫防最新注射液
ツベルクロストロミーン
醫學博士百瀬一二先生創製
本品は醫學博士百瀬一二先生多年研究の結果發見せられ結核菌中に含在し吸收を妨碍する蠟樣物質を脫却して得たる菌體基質の浮游液にして生體内に於て溶結核菌性抗體を産生せしむべき免疫元たり
本品は生體に注射するに其吸收容易なるが故に從て高度の免疫力を發生せしめ得べし
本品を結核患者の根治的免疫治療並に健康者の結核に對する豫防注射に使用して顯著の効果を奏すべきとは學理並に幾多の實驗に依り證明せらる丶所なり
說明書は御申越次第送呈す
東京市神田區淡路町 發賣元 風雲堂後藤合資會社

男のひみつ病
◎東京順天堂病院始め博士學士の御證明と全快者の禮狀頗る多く且つ全國發明品投票に最高點の優等に當選せる專賣特許手島式眞空療法器と包莖自療器とは共に生殖器の短小、包皮、萎縮能力の障害、神經衰弱、痳病等は頗ぶる手輕に外用し得られて治るハガキで申込ば非賣品圖入り說明書を無代送呈す
東京京橋本村木町三の五 東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所
(專賣特許より遙に劣等の新案特許なるものあり判別を誤る勿れ)

効力五倍以上の
クラブ齒磨
化學的に齒を強く美しくし
口中を清潔ならしむること
他の如何なる齒磨よりも遙かに優れるは
天下一品のクラブ齒磨なり

本機の光榮
東宮殿下 賜御嘉納
御大典主基齋田米精白
金銀牌十數個受領
◎精麥期と精麥自在の本機!!
精米用に於て他の精米機に超越せる本機は精麥用に使用し其成績又頗る優良無比なり
專賣特許 清水式 無砂 精米麥機


搗減僅少、精白迅速
動力少量、發熱皆無
製造發賣元 陸軍御用達 東京市神田區五軒町三番地 合資會社 清水商會
電話下谷三七三四、振替口座二〇七〇〇
◎說明書送呈◎

宮内省御用酒

天下逸品の灘釀
菊正宗
販賣店到る處にあり
朝鮮發賣元 合名會社 本嘉納商店 釜山倉庫部 電話四三一番 (振替京城二一七三番)

汽車 京釜 [illegible]

京城日報

五月廿一日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目 [illegible]

第三版

[illegible]民間蜂箱子株式會社にては政府の[illegible]國內地輸出の嚆矢なり

▲青島邦人の兒數 三月末其れの調査に係る現在青島在留邦人數は男七[illegible]兒二千四百九十八人十一歲より二十歲迄は一千五百六十九人二十一歲より三十歲迄は一二千四人女二千百九十四[illegible]て二十歲以上五十歲迄の働き盛り者は總數九千三百七十三人ありて之を全人口により見る時は約六割六分に[illegible]

[illegible]飯蛸二百五十貫目の開燒百五十貫の試驗的水産物罐詰製造を了し既に大連內地各方面の需業者に發送したる

[illegible]り居りしも本年は遠く南下し海州方面迄も出漁し相當の成績を擧げつゝあり我漁船の斯くの如く遠く南下せ[illegible]

[illegible]の情報に依れば從來餘り好成績を見ざりしが昨今漁獲漸く豐富となり一ヶ月に二百餘尾の漁獲を見つゝあり

[illegible]里兩班金花義（六五）は四月二十六日午後三時頃孫の嫁林分伊（一八）が家事上[illegible]とより[illegible]性[illegible]達を仰ぎて自殺を[illegible]義を引致取調中

日鮮滿統一論（四）

●鑛業上に於ける朝鮮の位置

産業國としての朝鮮の位置を察するに、半島は最も農業に適し、又漁業にも適せりと雖も、將來に於て其の最も有望なるものは、鑛業也。朝鮮に於て主要なる鑛産は、金也。金の産地として最も著名なるは、米人の經營に係る雲山金坑にして、鑛區の廣大なる、平安北道雲山郡全部を包括し、最近一箇年間に於ける産額は三百二十五萬餘圓に及べり。次に其の著名なるは、黃海道の遂安鑛山にして、英人の經營に屬し、一箇年の産額百九十五萬餘圓也。佛人の昌城金山、日本人の稷山金坑は大規模の操業に著手せんとしつゝあり。古河の稻城金山は、大正三年製錬場の建築に著手し、昨年製錬を開始するに至れり。朔州金鑛地は前者に比し、小鑛業家の割據する所にして未だ組織的操業を見るに至らずと雖も、鑛脈豐富なるを以て、早晩重要なる鑛産地たるを疑はず。

金鑛に亞で、其の豐富なるものは、鐵鑛にして、褐鐵鑛の産出最も多し。黃州及び黑橋驛附近より西乘二浦に至るの間、並に平安南道价川郡に見出さるゝものは、褐鐵鑛にして、殷栗の鐵鑛も亦此類なり。褐鐵鑛に亞で、産出の多きは赤鐵鑛にして、安岳鐵山是れ也。磁鐵鑛も各地方に見出されざるにあらずと雖も、未だ盛ならざるが如し。供給の狀態は、單に八幡製鐵所の需用額約二十萬噸を載寧、殷栗、及び安岳の三鐵山より供給し、本溪湖煤鐵公司需用の三萬餘噸を价川鐵山より供給するに過ぎずと雖も、製鐵事業の發展に伴ひ、産額漸次に增加すべきは、自然の勢也。

鐵鑛に亞で、石炭も主要鑛産の一也。殊に平壤無煙炭の名は、世人の周ねく知る所にして、明治四十年以來、官營と爲り、政府は平壤に鑛業所を設け、大同、江東の二郡を鑛區として之を採掘し、鑛量豐饒、品質優良なり、又た平安南道价川、順川、德川、及び孟山の諸郡に布衍せる無煙炭田も亦其の品質、平壤無煙炭に劣らざるが如し。其他、黑鉛、銅、亞鉛「タングステン」等の鑛山にして、有望なるもの少なからず。今や內外資本家の半島鑛業に注目し、其の經營に著手するもの益々多く、近時滿洲に於て、將に勃興せんとする鑛業並に其他の商工業と相俟て、健全なる發達を促すに至らば、一新紀元を鮮滿の産業界に劃するに至るや、斷じて疑を容れざる也。半島の前途に注目するもの、安ぞ此の新現象、新機運を洞察し、豫じめ之を利導し、日鮮滿蒙の統一絡聯を圖らざるを得んや。

遊支所感

（六）日本人の勢力

漢城銀行專務 韓相龍氏談

△貿易の激進 日本は地理的歷史的、將た復た人種的關係より、支那に於ける勢力日に伸び月に進み今や政治、經濟上は勿論、社會的方面に在りても優に列國を拔くの概あり、在支那人の如き南北を合せば既に十萬を越ね、有ゆる方面に亙りて著大の發展を見る。即ち貿易に在ては由來第四、第五に位置せしものも最近第三位に上れるのみならず、更に第二位に躍進せむとし、大取引は漸次邦人の手に依りて扱はれ來ると共に地方貿易また歐米人に比すれば遙かに優勢にして産物の買次第に擴張されつゝあり。而かも日本産品は刻々歡迎の度を高め、漸次外國産品を驅逐して棉糸布、木材、マッチ其の他雜貨の如き、今や殆ど日本品の獨占に歸し日支貿易額は大正三年中に在りては二億八千萬圓に止まりしもの僅々二年後即ち大正五年に於ては一躍三億七千萬圓を越せり。

△三井及び正金 而して經濟機關の施設は各地とも遺漏なく殊に滿洲は姑く措き支那本部に於ける外國商業機關を概觀せば貿易に在りては三井物産、銀行に在りては正金銀行最も大活躍を試み、兩者とも恰も一人舞臺の感あり上海に於ける外國爲替の賣買は從來英の香港上海銀行之を獨占せる狀況なりしが正金銀行の勢力逐次膨脹して昨今既に之と對峙し、日本向爲替は勿論、歐米向爲替に在りても正金、臺灣等日本側諸銀行の手に依りて扱はるゝに至れり。

△航海業其他 長江沿岸の航海權は久しく英國第一位を占めしが遂に我日清汽船の膨脹に依り大正五年は一籌を輸して英國第二位に下るの止むなきを見、紡績事業の如きも在上海三井物産工場は從來四萬五千錘なりしが最近之を擴張して約九萬五千錘の工場たらしむ可く現に其の施設中に在り、また支那唯一の大鐵工所にして自ら規模の宏壯を誇れる漢冶萍公司は漢陽に其の工場を設置し、萍鄉に石炭坑を有し大冶の鐵鑛と俟つて三者鼎立事業を經營し居れるが之れまた日本の投資三千萬圓を數へ技術及び會計は日本より供給するのみならず其鑛石は自己工場の需要以外悉く日本の專買となり、外債を募り若くは外人との共同經營を許さず、金額は日本の資力に依り、僅に上海租界の警察は從來歐洲人の之に當りしも今日に於ては日本其の一部に任じ、鐵道資金も亦京漢線の如きは日本よりの借款を以て償還額の一部となせり

支那の政府

東京 一記者

支那政府、既に獨逸と國交を斷絕し、更に進みて、戰爭に參加せむとするや、此に端なくも、政府と反對黨との間に大衝突を引起し、段內閣總辭職とまで傳へられたれども、最近の報道に依れば、段總理は留任、內閣は改造といふことに歸著すべき模樣あり、反對黨と雖も、戰爭參加に不滿足なりといふに過ぎざるを以て、言はゞ、是は無益の政爭なり、といふことは邪在なく、只段內閣外交問題の上の爭ひにあらず、若し彼是折り合ふを得べくむば、速かに折合ふに若かざるなり、國家有事の日に當りて、長く政爭に耽るが如きは、吾人の支那の爲めに取らざる所なり。

今日、支那の政治界は甚だ錯叢を極む、段祺瑞氏は、其の所謂北方官僚派の首領として、內閣總理たり、然るに、國會は孫文氏一派の國民黨優勢を占め、所謂南方派なるもの成形たり、然れども、支那の政治界は、決して此南北二派に依つて、派別せられたるにあらずして、段氏と相雁行して、馮國璋氏の率ふる長江官僚系なるものあり、王占元、李純諸氏之を助くるあり、之に對して政學會なるものあり、其表面に立つものは張耀命、谷鍾秀諸氏なれども、其背後には、第三革命の大立物たりし、岑春煊、陸榮廷、唐繼堯諸氏あり、且支那人は頗る政爭に巧みにして、常に能く互に犄角の形を相成すあり、以て爭ふも、已甚だしきをなさずして自ら全くするの計を求む、猛進猪突して、成敗を一擧に決するが如きは、彼等の欲せざる所なり、蓋し、若し頭數を以て爭はゞ、段氏は固より他の政爭者に數步を讓るべしと雖も、北方の官僚も、兵力とを擁するのみならず、現に政局に立つといふ强味あり、之れ幾度か傾覆を傳へられて、而して猶ほ、能く其命脈を保ち來れる所以なり。

或は此度の「支那の政治的混雜は、日本人若くは英佛外交家が、支那を戰爭に參加せしむるに努めたるが爲めに、招致したるものと爲すも、是は全く誤解なるべし、支那が獨逸と戰を開きて、協商國側と其行動を共にするといふとは、日本及び英佛諸國の、共に喜ぶべき所の事なり、日本及び英佛諸國の、外交の事に當るものは各々自國の利益を圖るために、盡力すべきや勿論なり、其を盡力したるとて、決して咎むべき道理なし、併ながら、其事は專ら、外道の範圍に限られ、支那の內政に立ち入りて、之を强要するが如きとなし、從て參戰問題は、支那自ら決定すべくして、他人は此に與るべからず、我日本は支那の參戰を望むと、英佛諸國と異なることなし、然れども、英佛より以上に之を望むべき理由はこれ無く、從て我より强て之を求め、若くば、我より特に、代償條件を提供してまで、支那を誘導するの必要はこれ無きなり、我が帝國本土の政治家中には、此邊の事理を解せずして、殊に日本當局者が段內閣を誘ふて、窮地に立たしめたりなど、噪ぎ立てるものもこれ有る趣なれども、是等は、恐くは誤解にあらざれば、即ち曲解なり、所謂參戰問題なるものの性質を知り得ば、支那の今日の政局の、錯叢せる狀態を知るものは、何人も其の間に疑を挾かす。

南洋見物

（20）印度兵の叛亂（其二）

淺岡重喜（投）

[illegible]

日報詩壇

哭姪三首　古城 梅溪

昨夜候傳措遠蘭、殘秋哭送逆旅棺。北邙雲暗夕陽路、一陣悲風吹面寒。

雙親遺恨向誰開、天報妙齡呼不回。爲道魂留此世間、再來膝下慰追哀。

老來殊覺淚成行、春雨花飛鳥逐香。最恨婚儀猶未了、佛前空照嫁衣箱。

評曰 無限悲哀、使讀者催涕淚。

懷卿留別　笹島 業峰

不知何日上車船、鴻爪雪泥空閱年。每遇佳辰多感想、心頭來去漢山川。

評曰 能寫得客裡眞情。

春日山寺　鹽見 亭堂

山門深鎖白雲中、石逕遙登芳草宮。[illegible]

評曰 句句亦清麗。

明太魚（朝鮮）　渡邊 淺野

佳魚元是産隣邦、從來歡滿[illegible]窓。外風寒春深夕、驟人相倚共吟缸。

評曰 明太魚朝鮮特産、君今在大連故曰隣邦二字。

[illegible]　兒島 孔草

[illegible]春入綠溪寺東溪。[illegible]一萬二千峰。

評曰 幽邃之境可想。

日報歌壇

[illegible]

東京 時事新報社發行 二大子供雜誌

少年　六月號　要目
赤勝つやうに（口繪）　一戶大將實戰談　首山の謎（軍事小說）　泉の一時四間　上海航路（冒險談）　鬼も長い變死（探偵奇譚）　奇怪な浮嶋（中野博士）　大英斷　山縣元帥傳

各十六錢 稅一錢半

少女　六月號　要目
紅一點（口繪）　花は紫色（草野博士）　太古の行く花　大波小波（小說）　移りの指環（探偵奇譚）　蠶の光（石川博士）　毒蛇の生活（山內博士）　花の秋（敘事）　少女音樂師（小說）　土橋の

最新刊
吉田勇新著　小村雪岱裝畫
麻の葉集
歌人としての著者が最近に於ける傑出せる小說、句樂忌、正體、沈丁花、狂言作者の死、俳諧亭句樂の死、裏の女、白き鳥、悠久の死等八篇悉く先生が苦心の結果に成れる當代文壇の驚異なる作のみ凡て至純なる藝術境をたどらむとする讀者に贈る
菊半截判三百五十頁 表紙木版 揷箱入美本 定價八十五錢 送料八錢

最新刊
泉鏡花著　小村雪岱裝畫
彌生帖
文壇多年の權威者たる先生の最も艶麗なる文章を集めたる九篇を收む、表題の如く彌生の華の絢爛せる如き文章は一篇毎に粹な戀の立引の傳法肌の男女又は凄艶なる幻の文字の變化極りなき筆は讀者を恍惚として魅せずんばやまざるべし
內容目次 雛がたり　入魚の祠　木精の紅蝶　箱根三妓　時雨の姿　政談十二社　新通伊達羽子板　夜物語　陽炎座
菊半截判六百頁裝幀美麗 表紙木版 手摺 廿度刷 箱入 定價壹圓 送料八錢

最新刊
正宗白鳥著　廣川松五郎裝畫
梅鉢草
現文壇に獨特なる純藝術家として名聲嘖々たる白鳥氏の最近の作中より最も鋭く讀者の嘆賞を博せる若干篇を悉く人生の深刻なる葛藤を描出せる近來の代表的傑作集なり
內容目次 乾いた心　梅鉢草　伊香保土産　信仰　世を恐れて　入江の假面　友情　第三者　田舍者
菊半截判四百餘頁裝幀美麗七製箱入金字入 定價九十錢 送料八錢
發兌 東京神田區錦町三ノ六 振替東京八七八七番 平和出版社

堅牢無比の新形萬年筆新荷著
（金ペン付）グラス萬年筆
朝鮮總代理店（目錄送呈）
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五〇 二七七四 振替京城二三五六
特約店 京城本町二丁目 町田商店

故 千頭清臣先生著　最新刊
那翁大帝
西園寺侯爵閣下題字 東鄉元帥閣下題字 杉浦重剛先生序文
口繪 挿繪 コロタイプ一頁 三色版三丁 寫眞版アート二十八頁 地圖三葉 挿入寫眞テート二十八頁 本文刷込寫眞版百有餘個
大判總布特製函入本文六百頁 正價金參圓 內地小包料十二錢
那翁傳中の最高權威
本書は著者多年の蘊蓄を析出せられたる大著にして百年前歐洲の天地を震撼せる曠世の英雄大那翁が卓犖風發の資を以て流星の如く東西に飛翔し風の如く南北に席捲したる光景は如何に現下の亂と對比して幻妙變易の差異あるかを見よ。尚ほ政治家として教育家として多方面なる某の生涯を極盡し、景仰の情と欽慕の筆と相俟つて玆に本書を大成す。口繪及挿入寫眞の豐富なる地圖の精確なる、加ふるに識見該博、史眼精透、文章勁拔、世間那翁傳の比に非ずと雖も、斷じて本書の右に出づるものあらざるべし。敢て大方の淸鑒を待つ。
東京市本町 博文館發行 振替東京二四〇番

夏物 硝子器各種（製造開始）
右安價販賣仕候に付多少に拘らず御用命の程偏に願上候
進物用コップ御名入。ハイ取器其外食器類一式御好應可申候
京城林町一六二番地（黃金町四丁目交番所北へ入る）小野玻璃器製造所 電話二七九一番
京城鍾路二丁目角 小野玻璃器販賣所 電話二八七九番

商業登記公告

[illegible]株式會社朝鮮商業銀行は大正六年五月七日支配人蘆田卓藏ヲ解任シ[illegible]

[illegible]

右公告ス
京城地方法院

法人登記公告

[illegible]

右公告ス
海州地方法院載寧支廳

支那の形勢

▲段援護派運動不利

在京各督軍の意見は終に分裂し議會解散に反對の曹錕、孟恩遠氏等は近く北京を引き揚ぐる事となり飽迄段氏援護を主張する倪嗣冲氏一派は十八日李厚基、張懷芝兩氏を代表として熱心に議會解散を強請せしも遂に容れられざりき(二十日北京特電)

▲段氏辭任か議會解散か

國務院と關係深き某政府黨議員の談に依れば官民兩派の調停は愈々望無く該運動は全く中止され段氏辭任か議會解散の何れにか出づるの外途なきに至れり(北京特電)

▲各督軍再會議を迫る

各督軍は十四日憲法會議にて內閣不信任及び國務總理の任免には副署を要せずとの事を可決したるは之れ段總理排斥を目的とする一時的手段にして寔に國情に適せる憲法制定に意なきものとし十九日大總統に一書を呈し憲法會議の再會議を命じ肯かずんば解散すべしと主張せり(北京特電)

▲北京英字紙主筆捕縛

日支間に密約進行中なりとの記事を掲載したる北京ガゼット紙主筆陳友仁は十八日捕縛されたり(北京特電)

◎ボ共和國對獨斷交

南米ボンジュラス共和國は獨逸と國交を斷絶せり(紐育電報)

◎水産汽船の目的及び能力

慶北三郡一島聯合品評會―慶北水産界の現況及び將來―水産汽船鷗丸の特徴―朝鮮唯一の試驗船―航海試驗好成績

庵原水産技師談

慶尚北道迎日郡主催の三郡一島聯合重要物産品評會に對する視察漁業調査並に總督府新造水産汽船鷗丸航海試驗の爲め慶尚南北兩道に出張せし庵原技師の歸來談に曰く

▲聯合品評會 は海陸各種の産物をはじめ諸種の工藝品其の他同聯合郡島內にかける主要物産を網羅し出品總數約一千八百を算せしが其の出品物は何れも近時産業奬勵の結果改良の績著しきのみならず新に生産若くは製出されしものも亦た鮮少ならず、各審査官に在りても齊しく其の進歩開發の顯著なるを歎賞し合へり

▲主要水産物 他事は姑く措き水産方面に就き一言せんに同地方の年産額は兩三年前に在りては五十萬圓內外に過ぎざりしも現下は百萬圓上に達し、殊に海外輸出の好適品多數を占むるに至れるは進歩の特徴といふ可く而かも其の製品中には非常に精良にして在來品とは同日に論ず可からざるものあり、然れども慶北沿岸は由來寒暖兩流の接觸點たるを以て兩流の生産物は悉く之を羅致し得るの好地位なるに拘らず概評せば其の開發は一部分に止まり未だ一般に及ばざるの憾あり、其の漁業の如きも多く沿海に傾き、魚族中部價にして産額最も大なる鯖、鰈、鮪、鰹、秋刀魚等に對しては他外よりの通漁者に依りて多少の漁事あるに過ぎず、同道漁民にして之等の漁獲を試むる者甚だ稀なり道般品評會の成績に徴するも尚ほ前途の發奮を要するもの少しとせず

▲水産試驗船 總督府水産課所屬新造汽船鷗丸は僅々六十噸の小型汽船にして船價三萬圓以外に過ぎずと雖も出來榮より之を評せば眞に鮮內唯一の改良漁船たるに耻ぢず、其の船體は遠洋漁業等に適するケッチ型式に造られ、普通速力八浬馬力を加ふるに於ては優に十浬以上に達す可く、內部の構造亦た極めて堅牢にして船體の小なるに比しローリング甚だ少く、風波の對抗力強くして異常の暴風波以外如何なる場合に於ても航海に耐ゆるの特徴あり、從つて本船の目的たる魚族調査、海洋觀測乃至魚撈試驗等に就きては極めて好適の汽船といふ可く加ふるに遠航海力を有するが故に將來本船にして之等諸事業に從事するに至らば獨り本船製造の目的を達するのみならずまた模範的遠洋汽船として表彰の價値あるを疑はず

▲試驗の結果 予が船海試驗として本船に搭乘せし際の如きは風波甚しく諸船舶何れも航海難を訴へ居たるに拘らず單り本船は極て平易且つ安全に操縱されたるに徴するも如上の點を證明するに足る可し、而して本船今後の行動は上述の目的に依り逐次進行すべきは勿論なるが差し向き朝鮮海峽に對する海洋調査並に欝陵島附近に於ける寒暖兩流接觸狀況調査に決し既に艤裝を了して昨今之に着手し居れり、其の詳細は結果を俟つて紹介する處ある可し

◎測地作業了期

土地調査局の測地作業中外業は昨年末を以て終了し同局員の減員を行ひ一方內業の整理を急ぎつゝあるが來る六月末若くは七月中に完了すべく中田課長以下全部の課員は同時に轉任若くは免官となり同課の全廢を見るべし但し調査局は官制の改正等を行はずとの事なり

◎院線貨物制限

各地發山陽線經由の滿鮮發着貨物は山陽線輸送力の關係上一日八十噸に制限され居りたる爲め滯貨を生じ當業者は困難し居りしかば釜山商業會議所より鐵道院西部管理局に對し右制限を一日二百噸に增加せんことを請願する處ありたるに對し本月上旬より一日百卅噸と變更されしが去る十六日より更に復舊し一日八十噸に制限したる旨通知ありたり(釜山)

◎朝鮮紡織進展

朝鮮に設立すべき朝鮮紡織株式會社は既報の通り柵瀨發起人代表者及び黑田技師長の實地踏査に依り工場建設地候補地も數箇所に亙り決定し極めて良好に進捗し居れるが尙ほ本事業に對し當初より多大の斡旋を與へつゝある宮木全南道長官は事務打合を兼ね近く佐藤第一部長を京城に派し本事業に對する道廳としての意見を開陳せしむべく尙ほ其の結果に依り長官自ら上京すべく一面柵瀨代議士は歸東後東京に於て他の發起人及び別派有力者とも會し計畫の具體的進展を期すべく要するに目下の處萬事順調に進捗しつゝありと

◎電話申込好況

一昨年より昨年に亘り鮮內の景氣振はざる際は京城以外各地の電話中加入者より取消申込頻發し遠く新加入を超ゆるの狀勢にありしかば一時鮮內の電話は五百口以上の剩餘を見るたるが之今春來各都市の市況稍活氣立ちしに伴ひ馬山鎭海等の二三地を除く外電話新加入申込みは陸續として絶へず殊に京城鎭南浦仁川羅南淸津等は多きを算しつゝあり從つて殘餘の電話の需要續出し目下殆んど電話の剩餘は之れなしと

◎異動地整理檢査

土地調査の完了府郡は調査局より土地臺帳を府郡廳に引繼ぎ其の後の異動の整理を行なはしめつゝあるが府郡廳中事務の不馴れ等より若干取扱上の誤謬なきを保し難きに付調査局は異動地整理檢査班を組織し其の檢査を行なひ兼ねて不馴れの廳員に正當の取扱方を指示せんとの計畫あり目下制度方法等の審議中なるが草案は既に參事官室に移り居れりと

◎慶北上半月金融

鮮銀大邱支店の調査に依れば米價は內地市場の漸騰に伴ひ當地方は日を接いで昂騰し殊に最近品薄出廻り皆無の爲め相場狂奔し小數大農の手持品あれども先高を見越して手放さず穀出廻は拱手如何ともする能はず大豆も出廻り乏しき折柄とて漸次氣配を強めつゝあり大勢斯の如き狀態なれば貸出の需要を喚起するに至らず更に移入綿絲布にありては不引緩奧地に出荷さるゝもの多く好況を持續し此方面に於て多少金融の緊を示せるも然も尚全般に於て緩漫なりと云はざるを得ず本月十五日現在鮮銀大邱支店帳尻左の如し(大邱)

▲預金 九三六、八二三圓 比前月末 三、六九四圓增

▲貸出 二三四、四七七 同 二七、六九四圓增

◈在鄕軍人會分會總會―小林分會長の勅語捧讀―

◎鰯八十萬尾

巨濟島を中心として慶南近海にては去る十三日より十七日に亘り合計約八十一萬尾の大漁あり從つて價格も從來一尾七錢五厘なりしもの昨今は五錢五厘まで低落し尚續々入船ありと

◎分會旗新緑に映えて

在鄕軍人會總會

京城在鄕軍人會の定期總會は廿日午後一時から獎忠壇で開催、靑柳の廣場に色鮮やかな

▽分會旗が輝やいて 芝生の周圍には美しい洋傘が折り重なつて見ゐる、會は小林分會長の勅語捧讀に始まり次いで會務の報告、支部長の訓示があつた、次ぎに來賓として菊花章の勳章を佩びた

▽秋山大將が 現れて『歐洲戰亂の教訓は益々在鄕軍人の責任の重きを感ぜしめる、今後の國難にあたりては諸君をはじめ國民全體が戰はねばならぬ……』といひながら『失敬』をやつて天幕に入る、次で

▽長谷川總督 代理高橋武官の簡單な訓示があつて後分會長の謝辭で式を終る、天幕の裡には立花師團長、古海中將、白水參謀長、などの姿も見ゐる、次ぎに會員一同は軍司令部小野大尉の歐洲戰亂講話を聞いた、芝生の上では紅白の

▽幔幕の裡で 女の人々の根岸流の薙刀の型が始まる、武德館少年隊の擊劍が始まる、徒歩競走が始まる、何處もかしこも非常な賑はひ、お終ひに立食の宴を催して夕刻散會

◎關釜連絡船缺航

二十日午前下關解纜の聯絡船高麗丸は海上風波の爲め缺航せり從つて二十一日釜山發の聯絡船も缺航すべし

◎松原支店課長著任

朝鮮銀行安東縣支店より本店營業局支店課長に榮轉せし松原純一氏は二十日午前八時南大門著列車にて著任せり

人事消息

▲木村鮮銀理事 二十日夜歸任

▲佐々木慶南道長官 二十日夜入京天眞樓へ

▲瓶岡鐵次郎氏(大同生命專務) 二十日朝退京

▲林永太氏(前代議士) 同上

■南語北語■

獨逸が羅國に和睦の申込をしたイヤあれは間違ひだイヤ間違ちやないイヤ間違ちやと何が何やら判らないが▲之れもテふたイヤ云はぬと間違ふかも知れぬが▲兎に角西班牙の新聞に掲載されて其が直に法王廳の機關新聞に轉載せられ▲其れが又た米國新聞に羅馬發巴里經由の電報となつて現はれて居る處迄注意すべき事柄がある▲先月下旬獨逸皇室で親族會議が開かれた時▲座中の某親王が一刻下の局を救ふには皇帝の退位より他は道はござるまい▲故に速にニコラス帝の例に倣はれて然るべく存ずると迄は行かなかつたか知らぬが▲兎に角獨帝に對して退位を勸めた▲すると獨帝の顏色がサツト變つたが▲流石は獨帝落付いて場內の形勢を見廻はすと▲多數の出席者は大概各親王の說に賛意を表した▲すると獨帝はツト席を立つて『何れ後程』と唯一言云ひ棄てゝ室を出でた▲其の夜再び同會議が開催されて宰相や大臣なども出席したが何う落著が付いたか其れは判らぬ▲獨帝退位說も之れが根源らしいとは之れは間違ちやないらしい▲朝鮮の各地では學校組合議員の選擧が大分激しい▲其處で候補者諸君に言子が鳥渡戶別訪問の秘訣を傳授しよう▲戶別訪問の秘訣は要するに茶を飮む事だ▲一軒で少なくとも二杯は飮まねばならぬ▲五十軒で先づ百杯やると大抵の豪傑も腹を下すが▲茶を飮みながら口說落せば大概の者は降參する▲やつて見給へ歸りには妻君などは玄關迄送つて來て『御心配なさいますな大丈夫ですよ』と來る事は受合▲其うなれば最う占めたもの戶別訪問も其處迄行かなければ駄目▲門口からヤア何うか宜敷なぞは智惠のない話しだ▲此の手で先達の總選擧には言子の友人なども當選して居る▲物も試しだサア〳〵やつて御覽じろ

◎滿洲の木材界

が北滿、(吉)林材に比して採算上不利益なるより餘り歡迎せられず又北海(道材は)……朝鮮に驅逐せられ滿洲へ輸入したるは甚だ尠少に過ぎず又北海材は目下の船腹と……はし價格も勢ひ昂騰して二月末に比し目下三割方の高價を唱へ赤松一才七八錢より無節上物は十五六錢を呼……新材到著期に至るも東清線の輸送難は依然たる可く現下吉林材の最急需要先きは四鄭鐵道工事及び撫順炭坑……入るも此等の需要を滿たすには足らざる豫想にて本年木材界は益々活況を呈するならんと(奉天)

……りし爲め豫定の日程にて終了する能はず一日の日延を行ひたるが尚諮問指示等の終了せざるあり更に一兩日……

……の總産額は鮮紙一萬二千三百六十九塊價格十九萬三千七百十八圓和紙四千二百零五塊價格六千九百三十……

……係員全部出張の筈なる上は直ちに工事に着手すべし▲道路契徵收額 全北道第一回の道路契徵收額は既に九分通り徵收濟となり未納額……

京日案內

普通五十錢 一回前金 番外一回前金(匿名一圓增し)

▲融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三ノ二六(丙祭前) 超木生 97

●看護婦及見習看護婦募集希望者は履歷書携帶來談 京城本町二ノ四 山田內科小兒科醫院 電二八八〇 26五

鯨 尾羽毛 御小賣 香月商店 京城明治町二ノ四八 2

●ピアノオルガン賣買貸借修繕の御依賴にも應ず 大和町一ノ四一 電取次六七七 杉野樂器店 24

◎內地人朝鮮人女工數十名募集 製絲に經驗あるもの 京城並木町二一四二番地 朝鮮製絲所 21

鈴木ヴァイオリン 山葉オルガン 本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 振二貳二參 65

番外

店員採用 年齡三十未滿中學校卒業程度學校卒業者業に趣味を有し確實なる保證人ある者自筆履歷書携帶但妻帶者に限る 國際通運株式會社京城支店 31

石材販賣 岡石材販賣所 永樂町二ノ三五 電二〇〇九 岡 與一 24

恩給年金立替 即時取引安全 短期無保險 京城若草町一〇 電話二三九一番 (金光教裏手) 國江商會 81

記者 武中三郎 右者都合に依り解約候に付自今當社と關係無之候 大日本新聞鮮滿支社

櫻谷質舖 秘密を守り丁寧に精々高價御預り可申候也 京城北米倉町三六(舊兵舍前) 小路 電話二八五四番

鑛區買入 銅鐵鉛亞鉛鑛 鑛區買入致候 但許可權先願權及新發見共 右希望者は直接御申込相成度候 京城旭町一丁目一〇三番 三友鑛業事務所 電話九五五番

水銀販賣 白上商店

最新刊

書名	著者	定價
◎補修朝鮮行政警察上規	東藤波武男	五二
◎歐州大戰と日本の將來	山口圭藏	一、八〇
◎諸家哲學本	養內田 正	一、〇〇
◎ロッス社會心理學	高部勝太郎	一、四〇
◎大正六年職員錄	朝鮮總督府編	五五
◎小作臺帳	松本恒吉	六〇
◎覺え易き算術の解方	岡田昇一	五五
◎正式算術熟達自修書	數理研究會編	八〇
◎句佛上人	沼夜濤	二、〇〇
◎敎へる人學ぶ人	川田正澂	一、〇〇
◎□に觀めて	新渡戸稻造	一、三〇
◎女の務むべき道	嘉悦孝子	八五
◎日蓮全集	日蓮宗新報社編	一、〇〇
◎古今集新古今集 合本	木田吉太郎	九〇
◎天下の糸平	高橋淡水	七〇
◎新撰句撰現俳壇の人々	栗田忠次郎	七五
◎北原白秋篇代表歌撰	北原白秋	六〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六六・二六〇 振替京城二五七三番

德富健次郎著

死の蔭に

第十六版發行

定價一圓八十錢 上製同二圓三十錢 送料各十二錢

(中央新聞評)著者を主人公とする一篇の小說とも見られ(報知)洒落にして人生味ある(萬朝)變化と詩味を兼有して興趣限りなき(中外商業)小說的紀行文(大阪毎日)叙事と叙景に相變らず明快にして華麗なる文字を自在に驅使し(都)随處の山水史蹟名勝は著者一流の筆致に巧に描き盡され、その人世觀社會觀乃至著者の個性は明珠の如く閃めき(讀賣新人)其中に多分に文明批評が含まれてゐる、人物評がある、又著者自身の內的生活の閃めきがある、之等が渾融する自然と人事との叙述の際に麗はしく輝いて來る。

發行所 東京日本橋西河岸十五 大江書房 振替口座 二二九四番

◎山路愛山先生の絕筆◎

世界の過去現在未來

愛山先生、世界の動亂こ我日本の將來こに關し深く感ずる所あり、十數年來研究の結晶たる『世界の過去現在未來』を論述せらる。說く所、古今東西に亘り赤裸々に人獸の分岐點より說き起して簡明に世界の變遷を叙述し、忌憚なく未來の世運に論及す。

通篇十七章、約二十二萬言、稿本を訂正し終りて翌日忽焉こして逝く、是れ實に先生最後の大著述にして而かも大遺言書なり。殊に『死』に關する問題を詳論して之を躬行實踐す。其豪放磊落、愛山先生は正に大正の賴山陽さも云ふべき人傑なり。

第十六章 將來の日本 の一章の如き、日本國民の覺悟を促さる、と極めて痛切、前人未發の卓見亦少からず、愛山先生の眞の思想は本書に由りて始めて後世に傳ふるものと云ふべし。

今や世界は動亂す、今後の變轉又測り知る可らず。苟も籍を日本に有する者、何人も速に此書を讀み、先生の史學の見解こ愛國的感情こを玩味し、喚起して大日本帝國の建造に努力せよ。

四六判四七二頁 定價壹圓貳拾錢 送料八錢

發行所 東京日本橋西河岸十五 振替口座二二九四六番 大江書房

大賣捌 京城 振替二五七三番 電六八四、二〇八六番 大阪屋號

眼科專門 江頭眼科醫院

入院隨意 京城明治町東拓橫(電話二〇四四番) 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

東海生命保險相互會社

◎資本金 五拾萬圓

◎諸積立金 二百七拾四萬九千八拾八圓

◎保險契約高 參千二百萬壹千六百參拾壹圓

本社 東京市麴町區內幸町二丁目二番地

東海生命保險相互會社 社長 松方五郎

◎當會社は相互組織にして加入者の利益最も多し

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後一二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	一一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後一二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前一一、〇三	後二、二三	四、三七	七、二八

五月場所千秋樂

優勝旗は百十六對八十五で西方へ 全勝若常陸土附かず栃木山大潮

大相撲夏場所は愈々二十日を以て芽出度く千秋樂となりたるが今回東西の成績は東方勝星八十五に對する西方の百十六なればその差三十一の多數を以て優勝旗は西方の手に入る事となり西方代表者大錦、栃木山、兩國、九州山が土俵に上り行司伊之助授與の口上を述べて取締出羽の海は優勝旗に目錄を添へて之れを大錦に渡し錦は更に今回の旗手たる大潮の手に渡し西方萬歳の聲に送られて支度部屋に入れり、然して當場所に於ける土附かずは栃木山、大潮の兩名にして幕下にては若常陸全勝せり當日の勝負手捌き左の如し

勝　負　勝
玉柳　中の川　隼　手柄山
入重高　寄り　櫻　若常陸　金龍
ケ岩　殿　成瀬山　浪　泉
彌高山　藤の川　大門岩　明
常の花　入甲山　錦島　宇都宮
駒泉　琴ケ浦　源氏山　千葉崎
釋迦嶽　若島　小常陸　土州山
大戸平　したて　九州山
栃木山　おし　黒瀬川
大錦　うつちやり　伊勢濱

（中入後）
龍ケ崎　預　三杉磯　柏戸　よりきり　清瀬川
鳴門洋　おし　逆の矢　大の高　石山
大潮　預　紅葉川　鶴渡　りきり　一湊
對馬洋　預　大鳴門
三役
逆鉾　鉾　敷島　兩國　異砂石
朝潮　分　宮城山

右の内▲彌高山に藤の川は右四ツにて寄り合ひ彌高捻るを藤殘さんとして踏切り▲大門岩に明は左四ツ押切つて大門の勝▲宇都宮に錦島は右四ツ錦鋭く寄進み宇都宮投げを打たんとするを殘して出し投を打ち錦の勝▲駒泉に琴ケ浦は駒突張り琴が右を差して寄らんとする出ハナを叩き込んで駒の勝▲常の花に入甲山は遮二無二突張り出して常の勝▲源氏山に千葉崎は千葉立ち上りさま右を差して一氣に寄切らんとするを源氏土俵際に殘し二本差して寄り返へせば千葉左上手を引きて逃げ源氏の首を卷いてジックリ土俵の內側に仁王立となりそのまゝ呼吸を圖り合ふ內水となり水入後源氏捻りを試みしが利かず互ひに隙を窺がふ內取り疲れて引分へ釋迦ケ嶽に若島は若突張り進むを釋迦土俵際に逃身に叩いて釋迦の勝▲小常陸に土州山は烈しく突き合ひ土州引きかけ或は蹴返したれど利かず再び突き合ふ內押切つて小常の勝

▲九州山に大戸平

左四ツ九州寄進で上手投を打たんとするを大戸殘しつつ強引に下手投を打てば美事に極まりて大喝采▲栃木山に黒瀬川は左四ツ黒寄らんとするを栃木左手を筈に當てゝ刻み足に押進みそのまゝ押切り栃木の勝にて館內表彰額を揭げらるゝ事となりたり▲大錦に伊勢の濱左四ツ伊勢強引に吊身に寄り進むを吊り上げて打ちやり大錦の勝

中入後●龍ケ崎に三杉磯は烈しく突き合ひ龍敵の右手を引きかけて廻り込み右を差して寄進むを三杉殘して廻り込み追ひ込んで行く龍を叩きしが之れより先き三杉に踏切ありと物言ひつき結局預かりとなる▲清瀬川に柏戸はバッタリ左四ツとなるや柏右上手を引いて吊身に寄切る▲大の高に石山は石右を差して寄進むを外掛けに切返して大の勝▲逆の矢に鳴門洋は鳴門敵の機先を制し唯一押に押倒して勝▲大汐に紅葉川は紅葉素早く汐の懷ろに飛び込み双筈に當てゝ押切らんとするを汐兩上手に抱へて引張り込み門に極めて強引に持ち出す刹那紅葉腰を突きつけしため汐の足流れしが行司は已に紅葉の腰無きものと認め軍配は潮に揚がりしに東溜りより物言ひつき結局一時土俵預かりとし追つて協會にて判定する事になりたり▲一湊に鶴渡りは右四ツに鶴寄ると見せ一の堪ふるところをグッと前へ引いて鯖折りに行けば一膝をついて負け▲對馬洋に大鳴門はバッタリ左四ツ對馬右上手を引いて捽りに吊らんとするを鳴門殘しつゝある內對馬寄進み強引の上手投を打つを鳴門體を突きつけて同體に流れ軍配は對馬に揚りしが物言ひついて預り▲逆鉾に敷島は無雜作に突き出して逆鉾の勝▲兩國に異砂石は異砂懷ろに飛び込むところを兩に肩口を突かれて腰碎けて打ち倒る▲宮城山に朝潮は宮城素早く二本差となるを朝門に撓めて呼吸をはかる內互ひに隙を窺ふのみにて戰へて動かず水となり水入後双方ヂリ〱押合のみにて更に變化なく引分となる之れにて打ち出したり

▲榮ある優勝旗と優勝力士
（上右）土附ず栃木山（同左）大潮
（下右より）大鳴門、逆の矢、錦島

產業上の實地教訓を得て

間島視察團一行の水原視察

間島視察團一行七十餘名は二十日水原に於ける原蠶種製造所其の他を視察せんが爲め同日午前八時三十分京城驛發南行列車に投じて水原へと急いだ折柄の軟風は心地よく車窓を拂ふ一眸の下之れ野も山も暖い春の惠みの懷に

◎新綠の裝ひ なだらかに昔に變る四方の景色を團員一同飽かず眺め入る樣子であつた水原に下車したのが九時二十七分之れより一同原蠶種製造所へと向ふ沿道到る所蓬々たる樹木、麥の青波、白衣に映ねて時ならぬ照の美しさ……十時頃製造所へ著し所長より原蠶種製造所の事業概況を聽取し說明用の印刷物を貰ひて二、三組に分れ

◎各室を巡覽 し夫々所員の熱心なる說明があつた標本陳列室、蠶室、氷庫、春蠶種、貯藏庫、桑園と順次に巡覽を終り何れも整頓せる場內の設備美しい標本等に一驚を喫するものゝ如く特に標本陳列室では一號室の蠶蛆蛹の模型及び實物、各道種及び在來種、の繭と生絲二號室の內地繭產額及び桑田反別比較模型、內地朝鮮各地方產繭、外國種蠶繭、桑樹害蟲標本等に

◎多大の興味 を感じつゝ中には手帖等取り出して熱心に所員の說明と實物模型等に注意して書取る人もあつた、一目瞭然たる統計的模型や標本の色鮮やかな所が孰れも氣に入つたらしい此所を引揚げてから直ぐ向ひの農林學校に到り主任から一應學校の現狀を說明され已に四百に近い卒業生と七、八十名の在校者を有する事入學程度も昨今は中學又は高等普通學校

◎卒業程度 である事等を知得し動植物の標本や人體解剖の模型等最も注意を惹き殊に解剖模型には一同感心の色あり奇問を發する等滿足の意を表して校內一巡の上滴らんばかりの新綠鬱蒼たる並木を縫うて勸業模範場に著いたのは十一時四十分頃であつた、模範場では普通農事部の說明を受け畜舍に入つて

◎畜產狀況を 聞き牛豚羊鷄山羊等の逞ましい筋骨を賞で、美しい標本室に案內されたが此所では小作人の夜業成績を表した、美しい人形を見て喜び諸農作物の害蟲益蟲の標本を見て合點し滿洲豆內地豆朝鮮豆の見本、內地の煙草朝鮮の煙草在來籾、改良籾の比較に依り改良籾の遙かに實益多きを悟り殊に各道の穀物比較の中

◎間島產の物 を眺めては一入感あるものゝ如くであつた十三道の牛の頭骨を見ては哀號と打興じつゝ羊の毛や織物、植物、病理の實驗室分析室を巡覽し獨逸式水揚風車を左に見て漫々たる碧水を漂へた西湖の畔杭眉亭に腰落付けて晝食日本料理の折詰と朝鮮漬物の饗應にあづかり何れも美味なる日本料理と朝鮮漬物とに舌鼓を鳴した此の所風光明媚

◎西湖の漫々 たる水と映れ岐山の新綠と相映ねて爽やかなる薰風を身に送る團員一同も此所の晝食に大滿足を表した……何分時間に制限ある事とて何時迄も此所の風光に名殘を惜むまもならず沿道の水田に農具等の說明を聞き苗代に多大の興味をそゝられて城內の慈惠醫院へ向ふ由來間島では苗代等を作る事なく籾を直ちに田に蒔く習慣だと云ふ慈惠醫院では各

◎病室を一覽 し其の有り難き施設に非常な感動を受けつゝ惜しくも一日の視察を閉づる事となつたが此日惜むらくは視察箇所の多きに比し時間僅少なりし爲め各所とも興味深き實驗等を示す能はず而かも一同大滿足を以つて引揚げし事當局者の熱心と科學の力を遺憾なく注ぎ込んで模樣と云ふ準備の行屆いて居る事に負はねばならぬと思つた

夏場所東京大相撲幕內成績表

（例）―伊勢濱は栃木山の負　（例）―栃木欄にて●○栃木山は伊勢濱の負

東勝　八十五　西勝　百十六

東の方（初日より十日）

力士	初日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
太刀山	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
鳳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
伊勢濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝潮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黒瀬川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
異砂石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土州山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大鳴門	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉ケ崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
敷島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紅葉川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

西の方（初日より十日）

力士	初日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
大錦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西ノ海	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兩國	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九州山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
逆鉾	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
對馬洋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釋迦嶽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
駒泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
源氏山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宇都宮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小常陸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

夏場所東京大相撲幕下成績表

（例）―琴ケ浦欄にて●○琴ケ浦は高ノ崎の負　（例）―高ノ崎欄にて○●高ノ崎は琴ケ浦の勝

東の方（初日より十日）

力士	初日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
琴ケ浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大江戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三杉磯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳴戸川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殿り	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
若ヨ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紅葉川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入間川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
浪ノ音	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大見崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八十島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
若常陸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍ケ崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

西の方（初日より十日）

力士	初日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
大門岩	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
稲川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
浪泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
國見崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花の山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
國ケ岩	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高ノ崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
御西山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
峰ノ森	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金龍	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八甲高	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉の川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中の川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
綾栄嶽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
男島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

一週間石炭庫に潜伏す

大膽なる少年

十七日午前北より元山港に入港したる汽船安平丸石炭庫に醬油樽を携へたる怪しき內地人少年潜伏し居る旨屆出でに依り元山警察署より警官出張引致取調べの結果香川縣生れの大塚幾太郎（一七）と言ひ其の自白する所に依れば本月五日京城より元山に流れ込み同地市川町島崎商店に奉公し居りしも主家の小切手を窃み態銀より五十圓を騙取せんとしたるも果さゞりしより注文を受けたりと詐稱し醬油一樽を詐取し之れを携へ內地に密航せんと折柄入港中なりし安平丸を內地行の汽船と誤つて乘込み潜伏し居るを出帆して航中西湖津沖にて發見されしが其際船內より醬油の注文を受けしより乘込みたるに直ちに出帆したるものなりと詐き十一日より十七日迄潜伏し遂に元山入港と同時に引渡されしものにて同人は京城仁川其他に於ても店員に住込み直ちに主家を害しては高飛びしたる前科者なる事判明したりと

飛機墜落慘死後報

三十米突の上空より鯱鉾立ちとなりて

既電の如く東京府下羽根田日本飛行學校にては二十日帝都訪問飛行を擧行し同校附屬飛行場にて早朝より準備を整へ午前六時五十分教官玉井政太郎氏（三二）は新製のグラハム、ホワイト式

▲三人乘機を操縱 して出發五百乃至六百米突の高度を保ちつゝ蒲田、大森、品川の上空を翫かに飛翔し七時二十分芝浦埋立地臨時著陸場に到著少憩し機首に二百十數旒の小國旗と飛行機に對する國民の熱なる研究を獎成せる檄文

▲數萬枚を積みて 七時三十五分離陸新橋、靈岸島、兩國、日本橋、東京驛上の空中を悠々と飛翔國旗と檄文とを撒布し同五十五分無事歸著少憩後更に第二回の帝都訪問飛行を爲すべく機上に上り東京日々新聞寫眞技手湯川護藏氏（二三）を其の

▲請に任せて同乘 せしめ九時二十分離陸三百米突の高度にて場內を一週したるが其の中機體の不備に氣付きたるものか著陸の姿勢に移り約三十米突の高度に下降せる際俄然左上翼折れて下方に繼頭すると見るや機體は右に急轉して鯱鉾立となり

▲眞逆倒に草原に 墜ちて粉碎し其の瞬間ガソリン油槽に火移りて猛火炎々たる有樣に人々は駈け付け機上の兩氏を救ひ出さんとしたるが湯川氏は發動機の上に俯伏せとなり顏面に操縱鍵貫通し全身に大火傷を負ひ玉井氏は腦骨を粉碎され虫の息なるより早速自動車に乘せ芝區三田松山病院に送り込みたるも兩氏共遂に絕命せり（東京特電）

李朝太祖

▽王子芳遠 太祖の禪位 「咸興の使」

悲曲劇‖王子芳遠兄弟を殺す‖太祖の悲嘆‖遁らぬ使▽

◇お氣の毒な太祖大王は折角高麗朝を亡ぼして王位に即かれたなれども、征塵未だ拂ひ去らざる間に早や家庭の波瀾に惱まねばならなかつた。前王后韓氏の腹に出來た六人の王子も、後添ひの康妃の產むだ二人の王子も、何れも可愛さに差別はなけれど、太祖はわけて一番末子の芳碩といふ王子を愛した。

◇芳碩は後添ひの王子で、同じ腹から生れたとは云へ、其の兄の芳蕃王子の放蕩で狂氣じみた性格とは、雲泥の差であつた。それに太祖は後添ひの康妃を愛してゐたので、其の子の芳碩が一番末子でもあり溫厚な性質でもあり臣下の者には人望があるといふので、王位は此の王子に讓りたい希望であつた。然るに康妃の權謀術數と八人の王子の反目とは、絕ゆる時なき葛藤を生むでお家騷動は盛んになつた。

◇然るに死んだ王妃の五人目に芳遠といふ王子があつて、常に猜を負ふ虎の如く機會を窺ねてゐた。それもその筈、芳遠王子は父君太祖と共に征塵にまみれ、曾ては開城の善竹橋畔に高麗朝の忠臣鄭夢周を刺したことがある。鄭夢周は人も知る如く麗朝末期の英傑で、文臣ではあれど一朝の重きを爲し、此の人が居れば到底太祖は高麗朝の天下を纂奪することは不可能であつた。然るに王子芳遠は猛然この幸福を遮したのである

◇それで假令太祖が何と思はうと王子の勢力は隱然一朝の重きを爲し太祖も亦た一面末恐ろしき者に思ふてゐたのである。ところが剛毅の芳遠は遂に兵を擧げて後添ひの二王子を殺したのであつた。されば太祖の悲嘆激怒はやる方なく、自分の寵愛した王妃の子、眼に入れても痛くない程の末子の芳碩。それを殺した憎ッくき芳遠奴を八ツ裂きにして呉れうづと怒髮冠を衝いて怒られたれど仕方がない。

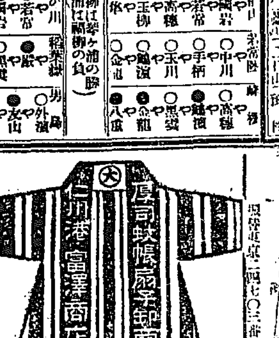
◇『おゝ、雷電よ、三角山の岩を打ち碎け!!火の神よ、漢江の水を火と燃やせ!!』太祖が髮をむしつて怒號せらるゝあたり舞臺でやれば頗る面白いところだが兎に角弓箭をとつては鬼と呼ばれたさすがの太祖もそれやこれやで弱り込み、昌德宮木殿の牙樀にホロ〱散る春の落花に世をはかなみしも幾度か、遂には寺に佛の菩提を弔ひ、後生を願はれる身となられた。而して滿腔の不平に拂ふに由なく在位七年九箇月にして位を次男の定宗大王に讓り自らは上王と稱して江原道の金剛山から過回李王殿下の展謁ありし咸南道の咸興に遁れ此處で數年の春秋を送られたのであつた。

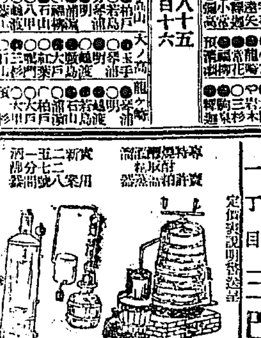
◇此の時王子芳遠は李朝三代目の太宗大王となつてゐられたが、父君を京城に迎ふべく幾度も咸興に使を遣つても皆歸つて來ない。それは怒つた太祖が狩獵の餘りに使の首を手打ちにするのである。迷惑であるが、有名な家臣も皆やられた。此の才使に行つて歸らぬことを『咸興の差使員（ハムン、チヤーサーオン）』といふ諺はこれより始まりける（第五信咸興にて特派員）

[illegible]價格目に騰ずしつゝあり木材中滿洲に於て最も廣く需要せらるゝは北滿材にて鴨綠江材は角取りの工合[illegible]め[illegible]滿洲輸出の途杜絕し亦鴨綠江材は朝鮮に於ける同材の需要急にして昨年來其採材は悉く異常の[illegible]ず天津、[illegible]方面にも大なる需要起りて實に滿洲木材界空前の活況を現[illegible]途げつゝあるのみならず[illegible]

[illegible]澤なるに至らざれば低下せざる可く例年山奥より新材の安東、吉林等に到著するは七、八月の頃なるが假令[illegible]つて其輸送を交渉し一般民間の手に[illegible]は全輸送額の約三割の入荷あるに過ぎざる可きを以て木材騰貴の盛期に[illegible]

[illegible]進歩に於て十五日より開催中の管內各郡農會技術員會議は突然本田博士及び各道技師の來会ありその講話[illegible]本道に於ける製紙工場百七十箇所設置され當局の指導獎勵に依り年々製紙の改良増收を見つゝあるが昨年[illegible]修すべき三等道路昨年の洪水被害道路補給工事の調査に從事すべく近く[illegible]は本年度[illegible]部各郡に於ける本年の道路橋梁改修費に充當するものなりと▲大久保部長引籠 大久保第一部長は十七日より引籠療養中なり





店員募集
年齡十六歲より二十三歲位迄身體壯健なる者相當週りに至急採用す本人來談但確實なる保證人を要す
京城黃金町一丁目
三巴商會

花筐(はながたみ)（一）

松田竹の島人作

「旦那様は何時入らつしやるんでございませう？」と小間使のお豊が、思ひ出したやうに訊くと、

「今度の日曜には、多分入らつしやるだらうよ。」と市野夫人京子は、編物の手を休めた。

京子は年頃二十四五で、色透き通る程白く、眼のぱつちりとして鼻筋も口元も尋常で、美人ではあつたけれども、痩せ形で蒲柳の質らしく、そして雨に濡れた花のやうに、何處ともなく愁ひを帶びてゐた。

神奈川縣山の内の小高みに、前莊向に建てられて間もない新築同様の賣家があつたが、東京の日本橋通りに本社のある日本鑛業株式會社の社長市野誠信は、去年の秋此家屋を買ひ取つて別莊とした。そして病身の夫人京子に、小間使のお豊を付けて此處に轉地させてゐた。

山の内は、其往時は江戸からの鎌倉街道の小驛で、今では大船停車場から、鎌倉へ通ずる縣道に沿ふた、戸數百戸ばかりの小村落であつた。茅葺の人家が、老人の歯のやうに疎らで、鄙びてはゐるけれども、町らしい體裁は備へてゐた。

質素に、簡易に暮すには、日用の買物は村で間に合せることが能きるが、都會風に奢つた日用品になると鎌倉まで往かねば覓め得られなかつた。

市野誠信は、一割五分の配當をする有利會社の社長であつたから、別莊地として開けた便利な鎌倉にでも、逗子にでも茅ケ崎にでも、望通りの別莊を建築するだけの財力はあつた。それだのに何故辺陬な山の内で、家屋を買ひ取つたかといふに、それには考慮があつた。

山の内は、鎌倉の海岸から、約一里離れた山懐の地で、鎌倉の強烈な潮風よりも、山幾つかを越いて、弱く爲つて吹き來る潮風の方が、病身の者に適すると、醫師の勸告があつたし、それから京濱間の院線電車が、横須賀迄延長の暁には、山の内にも停車場が設置される、然うなると東京の郊外程に、家屋の建て込んでゐる鎌倉よりも逗子よりも、靜閑な山の内の方が、別莊地として適する。從つて地價が騰貴するといふ見込があつたからである。

山の内の縣道から、西へ曲つて、畑の間の徑を一丁程登つた山の半腹に、市野の買ひ取つた別莊はあつた。

京城府永樂町一（商品陳列館通坂上）
花柳病 皮膚病　須古醫院　電話二一〇二番

座敷に座つたまゝ、建長寺の半僧坊の山も、圓覺寺の瑞鹿山も、指顧の中に眺められる。東南に向いた家屋であつたから、冬は朝から温い日光が、屋内一杯に映し込み、夏は涼しい山風が吹き込むのであつた。

丁度五月の初旬であつたから、庭の芝は、靑い毛氈でも敷いたやうに芽を吹いて、花壇には牡丹の花が咲き誇つて、國香と稱へられるだけに佳い香氣を放つて、蜂や蝶を狂はせてゐた。

京子は縁近く端に座つて、夫誠信の靴下を編んでゐると、其傍で小間使のお豊は、雜巾を刺してゐた。

「旦那様が今度入らつしやる時に、お嬢様を御連れ遊ばすと可うございますね。」

院長　醫學士　森定吉
内科 小兒科
京城本町三丁目 死坊會社向側　芙蓉醫院　電話一六三三番

「然うねエ。」

「お嬢様に、お逢ひたくは居らつしやらないでございますか？」

「そりやお前子だもの逢ひたいわ。でもねエ乳母が能く彼の兒の面倒を見てくれるから、安心して此處に來て居られるわ。」

「何んならお嬢様を、此方へ御呼びに爲つたら宜しいぢやございませんか？」

「此處に置いとくと、幼稚園を休ませんぢやならないからねエ。」

停雲會詩集

新燕　押新　雲煙　大道白

雨後風光滿眼新。庭前細柳媚青春。喃喃絮語疑敍舊。歲歲年年不捨貧。

春眠　押眠　同　人

春風淡蕩日如年。雞犬戲遊丹竈邊。獨酌陶陶人不到。枕肱篰脚北窓眠。

桃花浪　押花　同　人

夕陽離影水無涯。倚閣捲簾彩燕斜。怨看春風搖萬朶。桃花如浪浪如花。

柳絮　小芥　高田長豐

飛絮縈回蝶眼迷。逐風片片不黏泥。謝家小女眞堪賦。曉雪還疑綺陌隄。

松濤　同　人

倚偏鳴葉翠枝高。蒼地老龍天半號。仰見凌霄千萬尺。銀河忽似捲層濤。

蛙鼓　同　人

華林園裡爲何鳴。磔格難分喜怒聲。孔庭。[illegible]好有蒼龍解蛙語。

柳絮　押飛　雲烟

桃李委姿人訪稀。池頭老柳猶殘暉。當樓悄悵倚欄處。風絮無端競雪飛。

蘭芳亭居偶會句錄（上）

洌水吟社の杉浦六嶂、鈴木芸窓、原梅柳の三君が見えたので早速隣家の野村鴨原君をも迎へ、鴨原君も私も句に眼覺めた半日を愉快に過した

木の芽

雨晴れて木の芽かゞやかな朝日　鴨原
木の芽島の夕日に歸る烏賊舟か　梅柳
木の芽摘む堤を白帆覗き過ぐ　芸窓
岨の木の芽に嶺巽は夕明りして　六轉
戸張り紺ら剝げて木の芽風の壺　芳宙

歸雁

雨の夜しみ〴〵と讀む歸る雁　鴨原
瀨音澄む朝月自ら歸る雁　同
嶺にそゝる樓すれ〴〵に歸る雁　六轉
心急ぐ旅夕となり鳴く歸雁　同
湖心に細う聲を殘して歸る雁　芸窓
渡舟の棹閃くや歸る雁　梅柳
郵便入れて戻る月夜を鳴く歸雁　芳宙
舟を洗ふ艀子の唄にや歸る雁　同

新刊紹介

▲主婦之友（六月號）發行以來好評を博しつゝある同誌は更に内容を充實せり本號の主なる讀物は山脇博士の『家庭外に於ける婦人の新任務』島崎藤村の『私の感心した佛國の主婦氣質』谷津芙博士夫人の『新婚の娘に送つた母の手紙』大評判の『讀者の運命判斷』と『虎狼よりも恐ろしい蠅の害』をはじめ中流の模範家計五種、調氣を盛沸した經驗、其他主婦必讀の實用記事を滿載せり（十七錢東京家政研究會）

▲地方行政（五月號）地方當局者の心得（水野錬太郎）罹災救助基金の研究（五十嵐鑛三郎）市町村費整理論（江木千之）其他（十五錢東京々橋加賀町帝國地方行政學會）

▲農業世界（五月號）農業と食糧問題（本塚博士）蠶業獎勵とフォルマリン（三村博士）農村生活と發明（村上特許局長）等見るべし（二十二錢東京日本橋本町博文館）

▲兒童（創刊號）學校、家庭、社會、教育、發護等各方面より滿十四歲迄の兒童を研究せん事を主眼とす此の種雜誌中内容最も完備せるもの（十六錢東京目黒停車場際兒童教養研究所）

▲ツーリスト（五週年記念號）澁澤、中村、阪谷各男爵平井、添田、野村、大屋各博士のツーリストビユーローに關する説及び外人の感想等（非賣品東京驛内ジヤパンツーリストビユーロー）

▲蠶業新報（五月號）社説、論説、調査、雜錄、科學界新書、問題、雜報等の各欄に分ち蠶業實際家の有益なる説を滿載せり（十八錢東京日本橋鍛冶町其社）

▲珊瑚礁（五月號）短歌を主とし評論、研究、感想等をも收む新進青年作家を中堅とせるが故に清新潑剌の氣全紙に溢る（二十五錢東京神田表猿樂町一三其社）

▲入學準備講習錄（七年度一號）中學校高等女學校程度にして教育實際家が執筆に係り平明懇切を旨として説述せり（合教は二十二錢東京麹町富士見町四南海書院）

▲家畜之日本（四月號）鷄卵貯藏法の新らしき研究、最も安い動植物飼料、懸賞我が家の養雞鶉の飼養法等（十一錢東京牛込原町三の一九双鷄園）

▲刀の研究（四月號）今日の刀工（綿貫湛逸）保存したき刀（弘田正郎）珍らしきもの（本阿彌光遜）刀劍相場、愛刀散士）其他（二十五錢東京下谷茅町二の一四南人社）

▲柔道（五月號）本邦競技運動の國際間に於ける位置（嘉納主宰）競技選手の精神的價値（中島博士）を初め種々の形詳解其他運動に關する記事十數（二十錢東京小石川大塚坂下町其會）

▲活動寫眞雜誌（三周年記念號）依例東都代表的映畫館十の外活劇界の記事殊に豐富にして縮三百餘提供脚本募集あり（二十五錢東京浪華大阪一ツ木其社）

▲趣味の友（五月號）幸田博士の鑑賞花卉臨風の江戸の文化愛心の日本古建築書術の鑑評の其他十數の記事悉く趣味本位（二十五錢東京市麻布飯倉町一八（其社）

▲食物の衛生（五月號）通俗食物論（福士博士）深呼吸の理論及實際に及す影響（高橋正一）朝鮮人の食物（大塚若克）其他食物療法に關するもの（十三錢東京牛込市谷河田町[illegible]）

▲大阪銀行通信錄（四月號）阪田博士の財政經濟論其他本國博士の不動産金融政策等の論説を初め論説調査と金融に關する好文字を滿載せり其他如例（二十五錢大阪銀行集會所）

▲西洋畫報（五月號）口繪、挿畫、記事悉く純粹の泰西趣味を以て滿され不脫落組にして振ぬけのせるは其誌の特色たるべし（二十八錢東京麹町富士見町四の一其社）

▲日本の關門（五月號）伯爵若夫人の情死と情愛問題、觀賞燃を誘ふ手段、滿鮮の商工界と人物、經濟小說其他（十五錢下關東都一四七暇雜社出版部）

▲衛生新報（婦人健康增進法）婦人の各時代に於ける健康増進法に關する專門家の説を初め婦人衛生に關するもの十數（十六錢五厘東京小石川宮下町一二其社）

▲クラブ白粉の光榮　十六名物の化粧品として品質の優秀、需用の廣大、共に斷然一頭地を抜けるクラブ白粉、クラブ歯磨、クラブ洗粉を始めクラブ各種化粧品は疾くて高貴の御料に召され雅びなき光榮に浴しつゝあるが本月六日より東京鉄道五十年紀念博覽會に於て又々皇后宮たる、クラブ化粧品十七種に對し特に御買上の恩命を賜はり重ね〴〵の光榮に無上の面目を施したる由、因にクラブ白粉は附けて高尚で非常に美しきのみならず洗つた後の生地の色までも白くなるといふ獨特の長所を有せる事とて到らゆる白粉中最も評判好く近來各地共大流行らしき實なりとい

▲實業子弟の福音　歐洲大戰亂の結果は我が實業界は我が帝國の實業發展を促すと同時に我が實業界は實業的新知識を有する青年を要求すること最も切なるものあり故に東京市京橋區南紺屋町實業之日本社內帝國實業講習會では天下の大實業家や大教育家等に計り、學校に行く能はざる多くの實業子弟が居ながら學校へ行つて勉強すると同等の新知識がつく様に仕組んであり中學程度の『實業講習錄』を月二回發行して居る、直ぐに實際の役に立つ實業的學問を教へて居る、その實業講習錄の見本は同會へハガキで申込めば無代で進呈する由

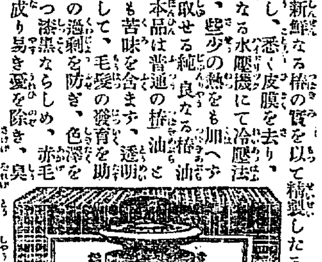
毛髮の衛生に適し其の色澤を漆黑艶麗ならしむる

◎ミツワ椿油（みつわ・つばきあぶら）

定價　小壜……金貳拾錢　中壜……五勺入……金參拾錢　大壜……一合入……金五拾錢　樽入……五合入……金貳圓五拾錢

MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) Oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 20 Sen, 30 Sen and 55 Sen.

本品は新鮮なる椿の實を以て精製したるものにして、從來の製造法を改良し、悉く皮膜を去り、強力なる水壓機にて冷壓法を用ひ、些少の熱をも加へずして搾取せる純良なる椿油なり。本品は普通の椿油と異り、毫も苦味を含まず、透明無臭にして、毛髮の發育を助け、雲脂の過剩を防ぎ、色澤を艶麗且つ漆黑ならしめ、赤毛、白毛に成り易き憂を除き、臭氣を發することなく、裂毛折毛等を生ずる虞を去り、漆黑を貴ぶ本邦人の毛髮に最も能く適應する理想的完全の毛髮油なり。



（現品縮寫圖）

贅澤で、經濟で、而して最も優良な

◎三百番香水（さんびやくばんかうすゐ）

定價　各種均一　小壜入　金五拾錢　中壜入　金壹圓五拾錢　大壜入　金貳圓五拾錢　內地以外は郵税運賃を加ふ

種類　ヴアイオレット（すみれ）　ローズ（ばら）　リリー（ゆり）　ムゲツト（花の名）　モミサ（花の名）　ブーケー（花束）

◎三百番香水は優雅な香で、長い時間馨を保つ六種の香を發賣いたしました。更に追々色々な種類を發賣致します。
◎三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになられる便利な香水であります。

（三百番香水現品縮寫圖）

本邦人の毛髮に適する模範的光澤香油として
馥郁たる芳香料とミツワ椿油とを以て構成せる

◎ミツワブリリアンチン

定價　金參拾錢　大壜　金五拾錢

MITSUWA BRILLIANTINE.
Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Price 30 Sen and 50 Sen.

本品はミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀香氣高雅の香水を配合し、尚特殊深奧の技工を施し創製したるものにして、男子の頭髮を分くるとき又婦人束髮の際、本品を振盪して用ふれば、毛髮諸症の禍原を除き、更に毛髮の榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶美ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與へ、能く頭腦を清新ならしむることを得、即ち本品は毛髮の眞美を發揮するに缺くべからざる模範的美髮料なり。

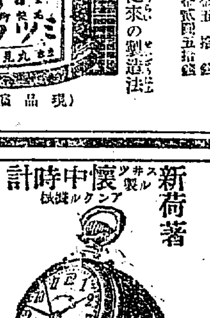
（現品縮寫圖）

ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品　發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
◎丸見屋商店
電信略號〇ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番　電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

てんかん（癲癇）も時で癒る　ヒキツケ

困難の方切手三錢送れ永年の病いも自宅でなをす最新の良法を教ゆ
◎名古屋市中區南小川町　牧生館

新荷著　スヰス製　懷中時計　アンクル鍵



（ニッケル側）十八形（片蓋）二圓五十錢　同 八日捲 九圓二十錢　同 十六形 六圓九十錢　同 十七形 四圓五十錢　同 ラヂユーム目盛付十六形 六圓二十錢　同 十七形 十二圓四十錢　[illegible]
右は今回新着の商品にて本商會の取り之を付記すれば極く安價にて御用命に應じ申候、代金引換の御注文に對しては小包郵便にて御送付可申上候
本店　京城本町二丁目
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッシー商會　電話九七二番

大邱浦項間自動車時間

上り　浦項發　大邱着　下り　大邱發　浦項着（各便時間 [illegible]）
電話二十七番　大塚農場自動車所　大邱出張部

金泉醴泉間自動車時間

上り　醴泉發 前八時　下り　金泉發 前八時 [illegible]
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告

〇門司、神戸、大阪行
〇和歌浦丸　五月廿九日後五時出帆
〇立神丸　五月十八日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
〇元山丸　五月 日後十時出帆
〇和歌浦丸　五月廿八日後四時出帆
〇立神丸　五月 日後六時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
〇第三琴平丸　五月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
〇第三琴平丸　五月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
〇天良丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波、大連行　阪東都府命令航路
〇芝罘、大連行
會下山丸　五月二十日午後入港　五月廿二日前十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡運送取扱仕候　大連にては青島行定期船接續荷客共運賃輕減取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　帝日町（電話二四七番）田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・二〇七）河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸　五月廿九日後四時出帆
君が代丸　五月廿二日後四時出帆
秀吉丸　五月 日後四時出帆
神代丸　五月 日後四時出帆
電話五十九番　仁川海岸通三丁目　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　五月廿三日正午出帆
[illegible]丸　六月三日正午出帆
三河丸　五月 日後十一時出帆
電話十一番　仁川海岸町一丁目　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

◎外航路所屬航路（一部航路を除く）の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
◎關門、神戸、大阪行
×油頭丸　五月 日後二時出帆
須磨丸　五月廿五日後二時出帆
×油頭丸　五月廿九日後二時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
安東丸　五月廿八日正午出帆
×安東丸　六月三日正午出帆
○横濱行
濟州丸　五月廿八日後二時出帆
△廣濟丸　六月三日後二時出帆
◎南浦、關門、神戸、大阪行
須磨丸　五月廿二日後二時出帆
◎鎭南浦、大連行
×安東丸　六月一日後二時出帆
×安平丸　六月 日後二時出帆
◎大連直航
濟州丸　五月廿三日正午出帆
△廣濟丸　五月廿八日正午出帆
◎西湖津、新浦、城津、淸津行（元山出帆）
宮島丸　六月四日後十二時出帆
◎淸津行（元山出帆）
安平丸　五月廿九日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　五月 日前六時出帆
基隆丸　六月三日後四時出帆
御注意　◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と船車の連絡切符發賣仕候◎印は客貨共取扱×印は郵便物取扱△印は船客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二〇八番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開盛館　電話二六一番

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番二三一二番
鐵道會社及社外船と荷客連絡運送の便あり詳細は支店、出張所、代理店荷客取扱店に御照會願上候
京城荷客取扱店　京城南大門通　松原運送店（電話長一七〇番）
〇江原丸　六月三日
〇京畿丸　五月廿四日
〇成鏡丸　五月廿九日
〇慶興丸　五月 日
門司より釜山各港寄港雄基間航路　釜山發
〇穩城丸　五月 日
〇昌平丸　五月 日
〇鏡城丸　五月廿一日
元山より各港經由雄基行　元山發
〇昌平丸　五月 日　元山發
〇鎭德丸　五月廿二日　釜山發
廿浦、九龍浦、浦項各港寄港
〇江陵丸　每日　釜山發
〇浦項丸
〇三浦丸　五月 日　釜山發
長承浦、馬山、統營
〇新義州丸　每日
〇玉浦丸　每日　釜山發
〇平壤丸　五月廿五日　元山發
〇順天丸　三日　木浦發
〇慶興丸　五月廿七日　木浦發
〇慶與丸　五月廿三日　木浦發
〇公州丸　五月廿二日　木浦發
〇麗水丸　五月廿三日　仁川發
〇晉州丸　五月　仁川發
〇宗信丸　五月廿二日　仁川發
〇全州丸
〇南陽丸　每日午前　仁川發
江華島、喬桐島、楊島、海州行